

《 現代版聖書のルーツ 1 》

[PDFファイル](#)

■ 第一部 現代版聖書はどこから？

● 見た目だけでは、わからないこと

たとえば、[ウィンナーソーセージ](#)の中身は、見た目ではわかりません。

ほとんどの人は、その『詰め袋』の中まで確認することなく、豚肉などの家畜の肉が入っていると思って食べているはずです。

ところが、かなり前の話ですが、日本で破格の安値で売られていたウィンナーソーセージがありました。

その中身の肉のルーツを探っていくと、東南アジアのある国にたどりつき、そこには『大ネズミ』の死骸が山積みされていました。

『豚肉』と『大ネズミ』の肉とは味がちがうはずなのに、巧妙な『味付け』により、ほとんど見分けがつかないウィンナーソーセージに変えてしまうことは可能なのです。

そうした『隠蔽 (いんぺい)』が発覚しないうちは、人々はおいしい『豚肉』のウィンナーを食べていると思いつつ、実際は、『大ネズミ』の肉を食べさせられていたのです。

混入物が『有害物質』である場合もあります。魚介類の中に『水銀』が入っていることを知らずに食べた人々が、さまざまな体の不調を訴えるようになりました。原因が『水銀』であると判明し、水俣病と命名されたのは、何年も後のことでした。その混入物は人々の脳にも諸器官にも影響を及ぼし、その魚介類を食べた人々の中には、言語障害、運動障害などの中樞神経系の障害が起こり、重症者は回復がきわめて困難で、死亡した人々も多数出たと報告されています。

さて、『霊的食物』に『有害物質』が混入していることは、あり得ないことでしょうか？

あるいは、『霊的食物』の中身が、『豚肉』の代わりに『大ネズミ』の肉にすり替わっていることは、あり得ないのでしょうか？

巧妙な『味付け』により、『隠蔽 (いんぺい)』により、そうした事実が知られずにいることは、あり得ないのでしょうか？

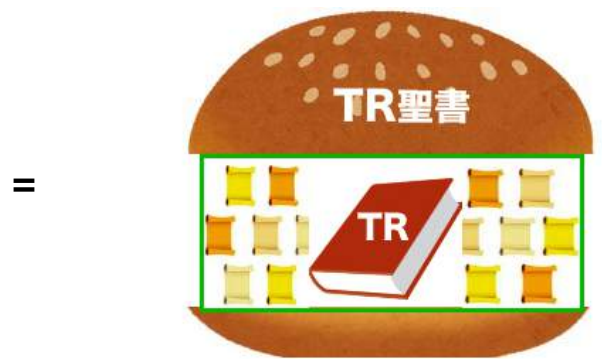
『水銀』を含む魚介類を食べ続けたことにより、人々の脳も諸器官も影響を受けて、回復がきわめて困難な障害が引き起こされましたが、『霊的食物』に関しては、大丈夫なのでしょうか？

● 二種類のハンバーガー

この《現代版聖書のルーツ》の学びでは、『霊的食物』である神のことば、聖書を、ハンバーガーに見立てて、イラストの図とともに説明していきたいと思います。

ハンバーガーのメニューは、おもに二種類あります。■TRによる聖書と、■現代版聖書です。

■TRによる聖書の中身は、TR聖書本文です。それは5000を超える聖書写本群（B-2）が整理され、一つにまとめられたものです。



TR（『受け入れられた聖書本文』）と呼ばれるようになる前からも、TRの読み方の聖書は存在していました（B5,B6参照）。世界最古の紀元66年の読み方も（B3）、現在のTR聖書本文の読み方と同じです。

TR聖書本文として整理し、まとめたのは、[エラスムス](#)、[ステファヌス](#)、[ベザ](#)、[エルセビル兄弟](#)、[F.H.A. スクリプナー博士](#)たちです。

[ルター](#)の聖書・[ティンダル](#)の聖書・「[キング・ジェームズ版（KJV）聖書](#)」も、[諸言語版のTR聖書](#)も、「[明治元訳 新約聖書](#)」・「[新契約聖書](#)」・「[TR日本語訳 新約聖書](#)」も、TR聖書本文に基づいて翻訳されています。

■現代版聖書は、UBS版聖書本文、[ネストレ-アーラント版](#)聖書本文を原文または底本としています。



=



これから、現代版聖書のルーツをたどり、その中身をさらに詳しく分析し、調べていくことにしましょう。これらの聖書本文が『何に由来しているか』を知ることは確かに重要ですが、『**どういう思想や信念を抱いた人々の手を経て作られてきたか**』を知ることも重要です。

なぜなら、それらの人々は、そういう**思い**を込めて、自分たちが**好ましい**と思うように手がけたはずであり、そうして出来上がった作品（聖書）は、必然的に彼らの**思想や信念**が**反映**されたものとなるからです。

● 知らされていない事実

人間の歴史の中で、人々が**知らずにいる**、あるいは、**知らされてこなかった『きわめて重要な事実』**は数多く存在します。そして、このことは、**聖書に関わる歴史**についても言えます。

その原因は、**【1】**ほとんどの人に**真実**が**知らされてこなかった**こと（第二部参照）と、**【2】**人々が**知らずにいる**ことをよしとしていることです。

- 『神のことばの真実』を伝えるミニストリーを行っている**デイビッド・クラウド**氏は、こう述べています。

「私はアメリカ国内のあらゆる地域の**聖書学校**や**神学校（セミナー）**を訪れてきました。

それらの学校の書店で共通して売られているのは、**ブルース・メッツガー**や**フレデリック・ケニヨン**、**クルト・アーラント**、**F.F.ブルース**等の著書です。これらの人々も、また、現代の本文批評学の諸理論を発展させてきた人々の多くも、**聖書の無謬性**を**否定**する**合理主義者**たちです。

福音派の人々も**バプテスト派**の人々も、彼ら自身が**本文批評学**を促進させてきたわけではなく、ただ、**グリースバッハ**、**ケニヨン**、**メッツガー**、**アーラント**らの教えに同調する人々の手からそれを**受け取り**、それを『最新の科学的な考え』として**伝えている**にすぎません。

残念なことに、ほとんどの人は、牧師たちでさえも、自分たちが**聖書学校**で**教わる**ことを、注意深く、また祈りをもって**詳しく調べる**ことをしていません。

そして、今日、**神学教育を受けた人ほとんどの人は**、『**TR聖書本文～KJV聖書**』について**知らずにいる**ことをよしとしています。

ほとんどの大学や神学校では、**TR**聖書本文の用語について**教えていません**。こうして、それらの学校を**卒業するほとんどの人が**、自分は聖書本文論議の**両陣営**のことを知っていると自以为、実際は**片方**の陣営のことしか**知らない**のです。

聖書大学や神学校（セミナー）のほとんどの卒業生は、**ジョン・バーゴン**、**エドワード・ミラー**、**エドワード・ヒルズ**、**テランズ・ブラウン**、**ドナルド・ウェイト**、あるいは、**KJV**聖書およびその**TR**本文を擁護する学者たちの**著作を一度も読んだことがない**のです。

何十人もの人々か私に、彼らは聖書の教育を受けていた期間、**聖書本文**や**聖書の数々の版**の論議について、その両陣営のことを**はっきり知らされたことがなかった**と証言しました。

その後、先に挙げた人々の著作を彼らが**自分で学んだ時**、**初めて**、**KJV-TR**の擁護を正しく評価できるようになったのです。

『[不信の泉から生じた本文批評学](#)』 David Cloud, Way of Life Literature, 2009

この《現代版聖書のルーツ》の学びで、そのような『**知らずにいたこと**』、『**はっきり知らされたことがなかったこと**』なども明らかになるはずです。

現代版聖書のルーツをたどるに当たり、その**原本・底本**となっている**ネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文**について詳しく見ていくことにしましょう。

● ネストレ-アーラント版本文はどこから？

まず、**ネストレ-アーラント版本文**について見てみましょう。

当初の**ネストレ-アーラント版聖書本文**について、**ケン・マツ博士**は、こう述べています。



「1898年、**エバハルト・ネストレ**という人物が『ギリシャ語新約聖書』の第一版を創りました。それは、**ティッシェンドルフ** (**シナイ写本**発見者)の写本と、**ホート**および**ウエストコット**の作った**聖書本文RV**と、**ウェイマウス**の本文から成り立っていました。



(1901年、ネストレはウェイマウスの本文を、1894年のベルンハルト・ヴァイスの本文で**置き換え**ました) 」

(**ケン・マツ博士** [E-4](#)参照)

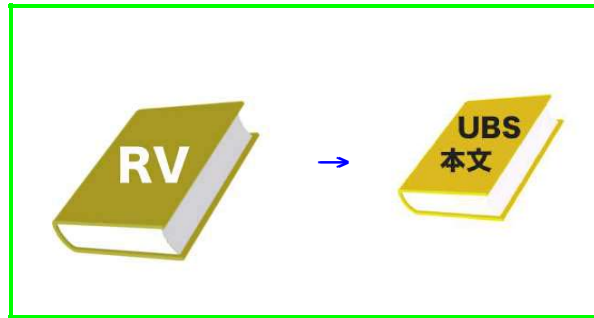
● UBS 本文はどこから？

次に、**UBS 版**聖書本文について見てみましょう。

UBS聖書本文の編集者**ブルース・メッツガー**はこう述べています。 ([E-2](#))



「**UBS**ギリシャ語新約聖書を作成した国際委員会は、ウェストコットとホートの聖書本文 (RV) をその土台の本文として採用しただけでなく、彼らの方法論にも従った…」



このように、**UBS 版**聖書本文は聖書本文**RV**に由来していることがわかります。

● 統一された同じ本文

現在、**ネストレ-アーラント**版聖書本文も**UBS 版**聖書本文も**同じ本文**です。 ([E-3](#) [E-4](#) [E-5](#) 参照)

「『ネストレ-アーラント版聖書本文』第27版（2006年発行）...それは、『UBS 版聖書本文』（聖書協会世界連盟 United Bible Societies）第4版と**同じ本文**です。

これらは、**ESV, NIV, NASB, HCSV**聖書、および、新たな**カトリック**の聖書などの**現代版聖書**が土台としている『読み方』および本文です」



([ウィル・キニー](#), "[Undeniable Proof the ESV, NIV, NASB, Holman Standard, NET etc. are the new "Vatican Versions"](#) [E-5](#))

『カトリック版聖書本文』は、こう書かれています。 ([E-4](#))

『ネストレ-アーラント版聖書本文』には、ギリシャ語が4つ使われています。(E-1)

「1955年、K.アーラントは、M.ブラック、B.M.メッツガー、A.ウィグレン、およびC.M.マルティニとともに『ギリシャ語新約聖書』を作成するための編集委員会に参加するよう招かれた。それは、数々の選択された箇所に関する研究資料付きのギリシャ語本文であり、世界の聖書翻訳者たちが利用するために意図されたものである（第一版:1966年、第二版:1968年）。

『ネストレ-アーラント版聖書本文』および『UBS版聖書本文』の二つの版の作業は、しばらくの期間、平行して行われた。

その結果、『ネストレ-アーラント版聖書本文』第26版（1979年）と、『UBS版聖書本文』第3版（1975年）は、土台となる同じ本文を共用した。

この二つの聖書本文によって共用された本文は、世界各国の聖書協会によって採用された。

そして、バチカン(ローマ教皇庁)と聖書協会世界連盟(UBS)との間での協定に従って、この本文は、彼らの監督の下で作成される新たな翻訳聖書および改訂版の土台として用いられている。

このことは、異なる宗派間での関係に関して、意義深い一歩である」



『ネストレ-アーラント版聖書本文』第27版（2006年）,p.45

以上のことから、現代版聖書が、おおむね、『ウェストコットとホートの聖書本文（RV）』に由来していることがわかります。

● 現代版聖書の編集者たちとは？

また、これらの本文を編集したのは、K.アーラント、M.ブラック、B.M.メッツガー、A.ウィグレン、およびC.M.マルティニでした。

彼らは、こういう人物でした。(E-2)

《現代版聖書の編集者たち》



- 彼は、モーセが五書を書いたのではないと信じていました。
 - 彼は、旧約聖書は、「神話と伝説と歴史」の混合物であると信じていました。
 - 彼は、ノアの時代の世界規模の洪水記録は誇張されたものだと信じていました。
 - 彼は、『ヨブ記』は民話であると信じていました。
 - 彼は、エリヤやエリシャの奇跡の記述には、「伝説的な要素」が含まれていると信じていました。
 - 彼は、ヨナ書の記述は『伝説』だと信じていました。
 - 彼は、『ダニエル書』には奇跡的な預言は含まれていないと信じていました。
 - 彼は、『牧会書簡』はパウロが書いたのではないと信じていました。
 - 彼は、『ペテロの第二の手紙』はペテロが書いたのではないと信じていました。
- ブルース・メッツガー
- 以上のことはすべて、『Reader's Digest Condensed Bible』の脚注で見出すことができます。これはメッツガーが編集した聖書です。また、『New Oxford Annotated Bible』（メッツガーが共編者）の中でも見出すことができます。
 - 彼は、外典を含み、エキュメニカルでリベラルな聖書『NRSV』の編纂者でした。彼はそれをローマ法王に贈呈しました。
 - 彼は、『ヘルマスの牧者』『クレメントの手紙』などの外典を靈感されたものとみなしました。
 - 彼は、不可知論者（神の存在は知り得ないとする）エールマンとの共著者でした。（E-2）
 - 彼は、聖書の逐語靈感を否定しました。
 - 彼は、エキュメニカルな新たな正典聖書（カトリックの数々の外典を含むことになるもの）を受け入れることにより、キリスト教のすべての教派が一つの『体』に統合されることを望みました。（クルト・アーラント著『新約聖書正典の問題』pp. 6,7,30-33）
 - 彼は、リベラル派であり、聖書の各書の正典性を疑いました。
 - 彼は、聖書を神のことばとは信じませんでした。
- クルト・アーラント
- 彼は、『Peake's Commentary on the Bible』の共同編集者（1982年）でした。この書物は、キリスト教の根本教理に大胆に反対する書であり、編集者たちは聖書の無謬の靈感も、摂理的保持の教えも否定しています。
 - 彼は、進化論ほか、カトリック独自の数々の教義を推し進めるカトリックの枢機卿であり、イエズス会の会士でした。
- マシュー・ブラック
- 彼は、『ニューエイジ、一つの世界宗教』を推進させるべく世界中から100人を越える宗教指導者たちから成る統合会議を招集しました。
 - 彼は、すべての教団および宗教をカトリック的統合へ導こうとするエキュメニカル運動および統合運動推進の急進派でした。
- カルロ・マルティニ

つまり、これらの現代版聖書の編集者たちは、

- 【聖書の逐語・無謬の靈感を否定し、神のことばと信じない】
- 【不可知論者との共著者である】
- 【キリスト教の根本教理に大胆に反対する】
- 【カトリック的統合に向けてエキュメニカル運動を推進する】人々であり、

彼らの思想・信念は、こうでした。

【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】 ・ 【外典は靈感されている】
 【聖書の逐語靈感を否定】 ・ 【聖書の正典性を疑う】
 【聖書の無謬の靈感を否定】 ・ 【聖書を神のことばと信じない】
 【聖書の摂理的保持の教えを否定】 ・ 【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】

このような人々から成る委員会での『話し合い』によって現代版聖書の原文（底本。ネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文）が編集されて作られ、その原文が翻訳されて世界各国の聖書が作られています。

図示すると、こうなります。



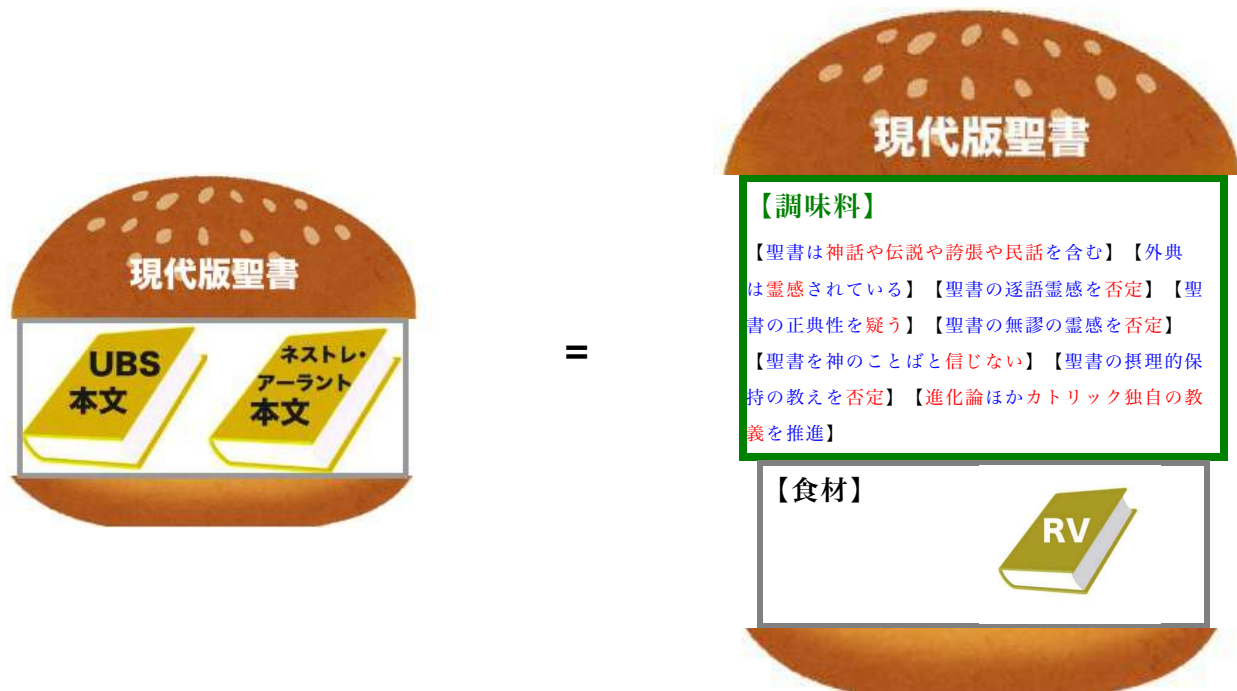
『霊的食物』である神のことば、聖書を、ハンバーガーに見立てるなら、こう表現することができます。

UBS版/ネストレ-アーラント版聖書本文は、

- K.アーラント、M.ブラック、B.M.メツガー、マルティニらの『料理人』が、
- RV聖書本文という【食材】に、
- 自分たちの思想・信念という『調味料』を加え、

そうして作り出された『メニュー』である。

こうして出来上がったハンバーガー（現代版聖書）は、下図のようになります。



■ この《現代版聖書のルーツ》の初めに述べたように、これらの聖書本文が『何に由来しているか』を知ることは確かに重要ですが、『どういう思想や信念を抱いた人々の手を経て作られてきたか』を知ることも重要です。なぜなら、彼らはそういう思想や信念を込めて、自分たちが好ましいと思うように手がけたはずであり、そうして出来上がった作品（聖書）は、必然的に彼らの思想や信念が反映されたものとなっているからです。

つまり、こうして出来上がったハンバーガー（現代版聖書）は、K.アーラント、M.ブラック、B.M.メツガー、マルティニという『料理人』たちが、【食材】に彼らの思想・信念という『調味料』で『味付け』した料理となっているのです。

したがって、現代版聖書を『読む』とは、このハンバーガーを、【食材】も『調味料』も、自分の『霊的食物』として食べることを意味します。

次に、このハンバーガーの『ハンバーガーショップ』、『生産工場』を見学することにしましょう。

聖書協会UBSとは、どういう『ショップ』・『工場』なのでしょう？

▼ 聖書協会の UBS には :

このネストレ-ア-ラント版/UBS版聖書本文の促進者である『聖書協会世界連盟』（UBS United Bible Societies）は、各国の聖書協会を統轄する **エキュメニカル**（全教会を統一させようとする運動の）団体です。

(E-3)

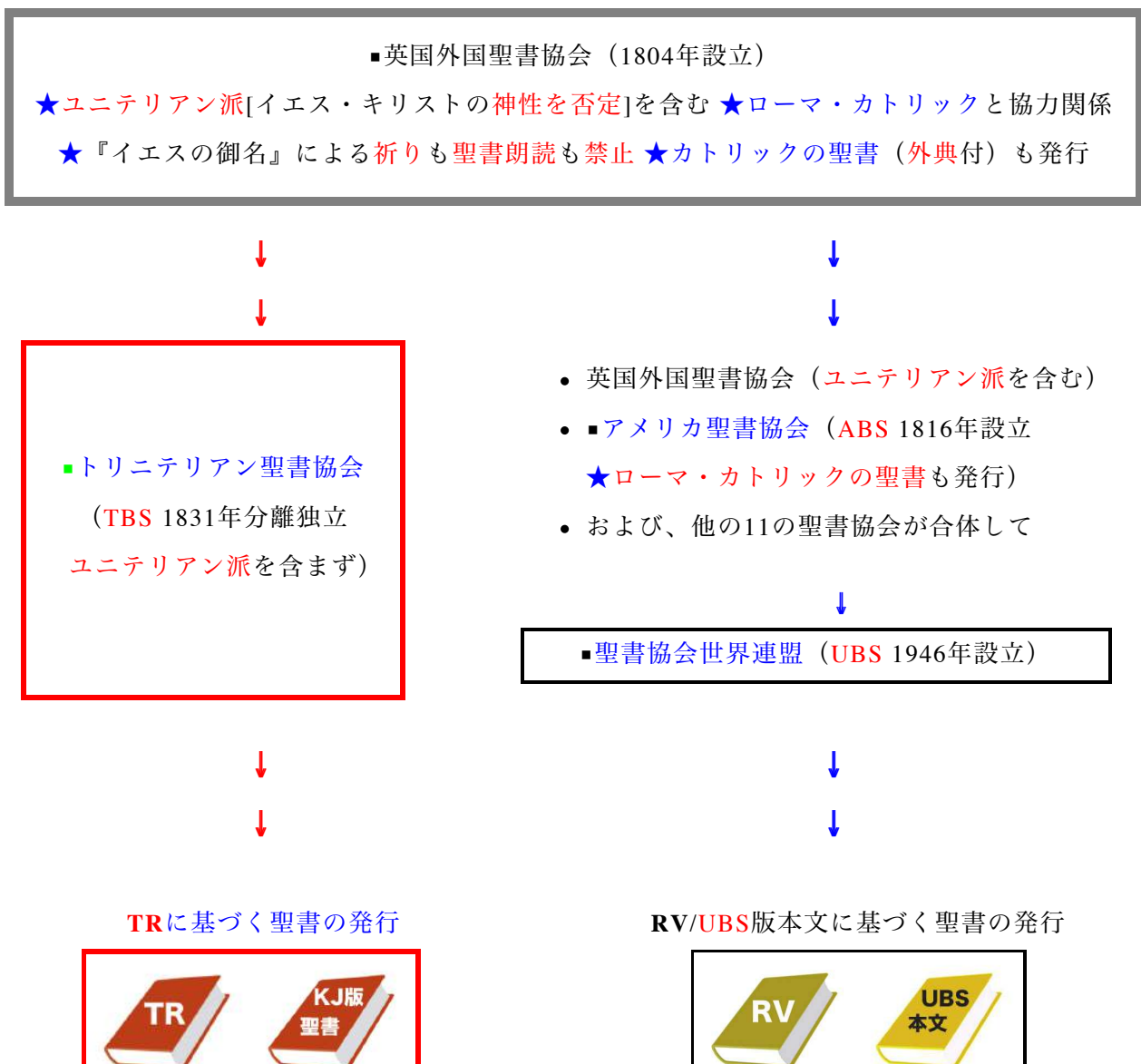
聖書協会世界連盟のメンバーである『英国外国聖書協会』（British and Foreign Bible Society）は、英語聖書を最初に出版し頒布した聖書協会でした。

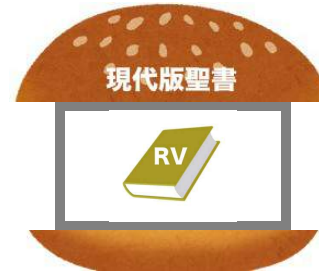
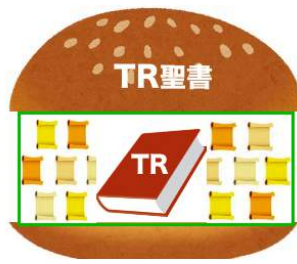
ところが、1831年には、この聖書協会は **ユニテリアン派**の信者と公言する人々を **重要な地位**に就けていました。ユニテリアン派の信者は、**イエス・キリストが神であることを信じていません**。

この聖書協会にユニテリアン派の信者たちが関わりを深めつつあることを懸念するようになったメンバーたちは、それから分離して、『トリニテリアン聖書協会』（TBS [Trinitarian Bible Society](#)）を設立しました。

トリニテリアン聖書協会（TBS）は今日に至るまでテキストゥス・レセプトゥス（TR）を発行し続けていますが、『英国外国聖書協会』および『聖書協会世界連盟』（UBS）は、19世紀後半にテキストゥス・レセプトゥス（TR）を **破棄**しました。

聖書協会世界連盟（UBS）は、**バチカン（ローマ教皇庁）**という**後ろ盾**を持っています。





聖書協会世界連盟（UBS）についてディビッド・クラウド氏はこう述べています。

「『英国外国聖書協会』は1804年にイギリスのロンドンで設立されました。

この協会は当初からローマ・カトリックの司祭たちと協力関係を持っていました。

『アメリカ聖書協会』聖書協会（ABS）の設立（1816年）の際には、ローマ・カトリックの指導者たちもその創設に関わるべく招かれました。

（TBS発行『Quarterly Record誌』

“The Bible Societies,”Jan.-Mar., 1979, pp. 13-14）

■ユニテリアン派との関わり

『英国外国聖書協会』は当初からユニテリアン派とも関わっていました。

彼らは聖書の三位一体の神（父、御子、聖霊）を否定し、キリストの神性を否定し、私たちの主が神であり人であられたことを激しく否定します。

彼らはまた、聖書の無謬性を否定し、キリストによる身代わりのあがないなども否定します。

彼らは『クリスチャン』とみなすことができるでしょうか？

ところが、『英国外国聖書協会』は創設してすぐに、これらユニテリアン派の人々をメンバーに加えたのです。...

■トリニテリアン聖書協会（TBS）の分離と独立

トリニテリアン聖書協会が設立されたのは、『英国外国聖書協会』の憲章とポリシーに関して、そのサポーターたちの中で論議がなされた後の1831年のことでした。

『主なるイエス・キリストの神性を否定するユニテリアン派の人々を、この協会のメンバーとすることも、職務に就けることはできない』ことをはっきりさせるための、聖書的教義の土台が欠如していることに対して、深い懸念が表明されました。

そのような土台を導入する動議が、ロンドンにおける例年の会合で長く、熱く議論されました。

しかし、その動議は**大多数の反対で却下**されました。...

『英国外国聖書協会』の**非聖書的なポリシー**を変更することの見通しが全くないことが明らかになった時、『**聖書の原則に基づく聖書協会**』を設立するための会合が召集されました。

(TBS発行『Quarterly Record誌』
No. 475, April-June, 1981, p. 3)

こうして、1831年、**トリニテリアン聖書協会 (TBS)** が誕生しました。

■UBSとエキュメニカル運動

今日、UBSは**エキュメニカル運動**に専心しています。

『**アメリカ聖書協会**』聖書協会 (ABS) 発行の小冊子 (1970年) に、こう書かれています。

「教派間での関係に関して、数々の聖書協会の**唯一の関心事**は、すべての信者を、**その人の私的な信条がどういうものであれ**、あらゆる言語で福音を宣べ伝えるという緊急の努めに就かせることである。...これら数々の聖書協会は、**教派や教理の相違に関係なく**、キリスト教会全体に仕えるよう努める」

(TBS発行『Quarterly Record誌』
Jan.-Mar. 1979, pp. 13-14)

このように、UBSは、**信仰教理**が彼らの**関心事ではない**ことを認めています。

聖書を発行する人々が、その数々の**教えに関心がない**とは、何と不思議なことでしょう！

...**ローマ・カトリックの枢機卿**フランシス・アリンツェは、UBSの**副総裁**でした。

枢機卿**カルロ・マルティニ**は1967年から2002年までUBSギリシャ語新約聖書の**編集委員**の一人でした。...」

(デイビッド・クラウド、『UBSとローマ』
[The United Bible Societies and Rome](#))

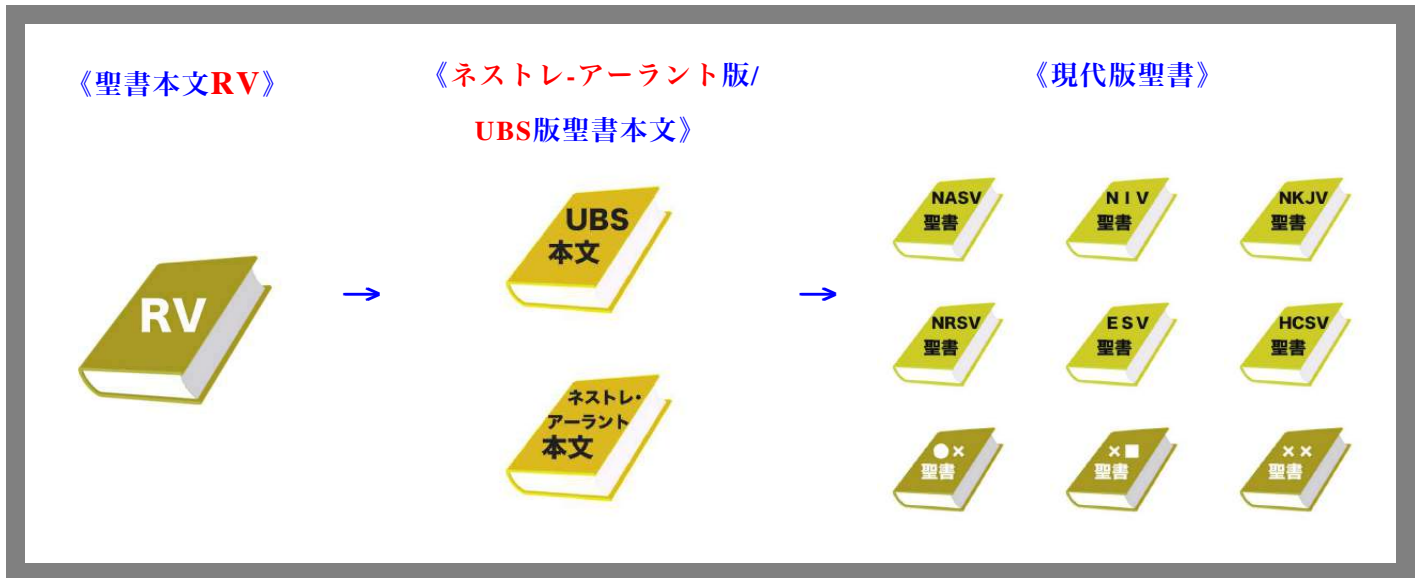
こうして、このハンバーガーの『ハンバーガーショップ』、『生産工場』の見学から、聖書協会UBSについて、次のことがわかります。

1. 設立当初から『**ユニテリアン派**』の影響を大きく受けている。
2. 要職に**枢機卿**が就任するなど『**ローマ・カトリック**』との関わりが深い。
3. 『**その人の私的な信条がどういうものであれ**』『**教派や教理の相違に関係なく**』という姿勢をもって『**エキュメニカル運動**』を推し進めている。

《第一部のまとめ》

以上をまとめると、**UBS版・ネストレ-アーラント版**に基づく現代版聖書に関して、次のようになります。

★現代版聖書は、おおむね、聖書本文**RV**に由来する。



★現代版聖書の『料理人』（編集者）たちは、次のような人々でした。

- 【聖書の逐語・無謬の靈感を否定し、神のことばと信じない】
- 【不可知論者との共著者である】
- 【キリスト教の根本教理に大胆に反対する】
- 【カトリック的統合に向けてエキュメニカル運動を推進する】人々であり、

彼らの**思想・信念**は、こうでした。

- 【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】 ・ 【外典は靈感されている】
- 【聖書の逐語靈感を否定】 ・ 【聖書の正典性を疑う】
- 【聖書の無謬の靈感を否定】 ・ 【聖書を神のことばと信じない】
- 【聖書の摂理的保持の教えを否定】 ・ 【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】

このような人々から成る委員会での『話し合い』によって現代版聖書の原文（底本。ネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文）が編集されて作られ、その原文が翻訳されて世界各国の聖書が作られています。

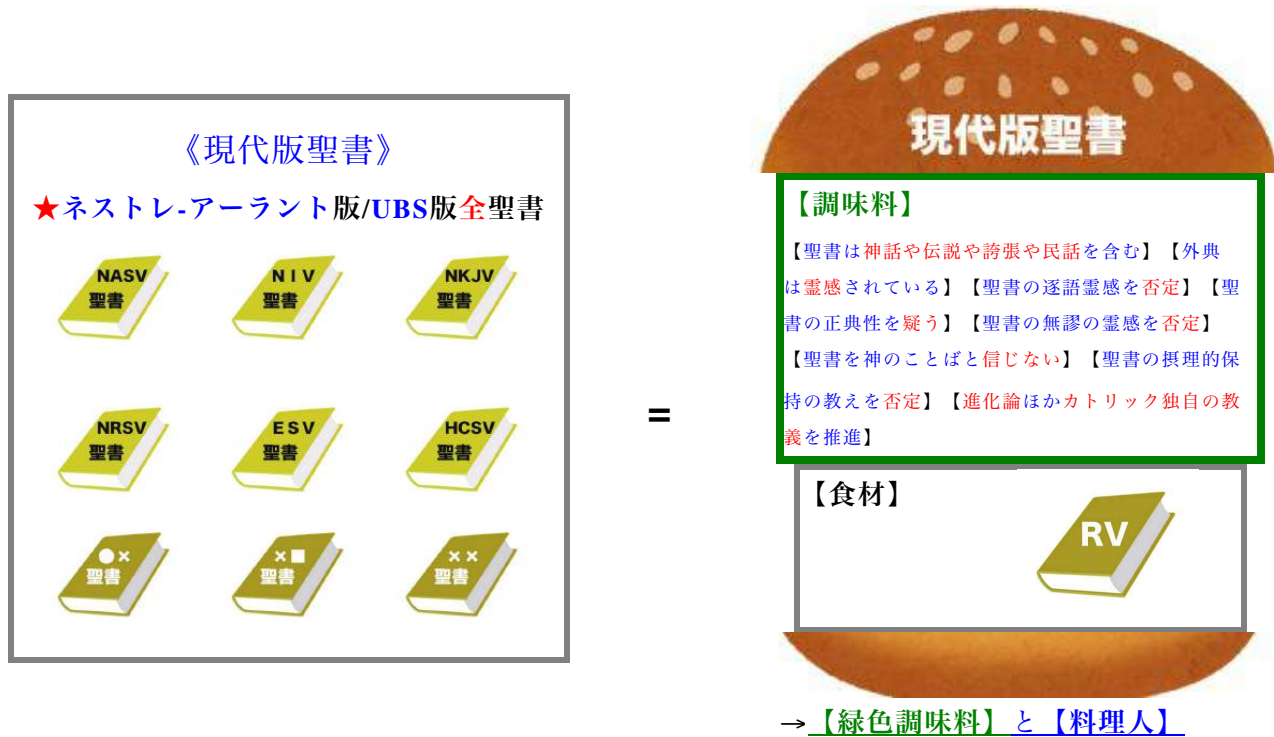
《現代版聖書の編集者たちの思想・信念》

- 【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】



★したがって、このような**思想・信念**を持っている人々が、おもに《**聖書本文RV**》から、現代版聖書の原文（底本）である《**ネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文**》を作成しており、彼らによって作成されたその原文が、翻訳者たちによって世界の諸言語に**翻訳**され、世界各国の《**現代版聖書**》が作られていることがわかります。

こうして出来上がった**ハンバーガー**（現代版聖書）は、下図のようになります。



★また、**ハンバーガー**（現代版聖書）の『**ショップ**』であり『**生産工場**』である**聖書協会UBS**が、次のような団体であることもわかりました。

1. 設立当初から『**ユニテリアン派**』の影響を大きく受けている。
2. 要職に**枢機卿**が就任するなど『**ローマ・カトリック**』との関わりが深い。
3. 『**その人の私的な信条がどのようなものであれ**』『**教派や教理の相違に関係なく**』という姿勢をもって『**エキュメニカル運動**』を推し進めている。

したがって、現代版聖書を『読む』とは、このような『工場』で作られたハンバーガーを、【食材】も『調味料』も、自分の『霊的食物』として食べることを意味します。

次に、この聖書本文RVとは何か、そして何に由来するかを見てみましょう。

《 現代版聖書のルーツ 2 》

[PDFファイル](#)

■ 第二部 聖書本文RVはどこから？

● RVを作り出した人々

第一部では、ハンバーガー（現代版聖書）が、RVという『食材』に、現代版聖書編集者たちの思想・信念という『調味料』で『味付け』されたものであることがわかりました。

この第二部では、その聖書本文RVとは何か、そして何に由来するかを見ることにしましょう。

この聖書本文RVは、1881年、二人のイギリス人B.F.ウェストコットとF.J.A.ホートの主導により作られました。（詳細はE-1参照）

その聖書「改訂」委員会は、それまでのTR聖書であるキング・ジェームズ版聖書(KJV)を改訂するはずでした。

- B.F.ウェストコットとF.J.A.ホート...彼らがRV作成を主導しました。ただし、彼らは悪霊との交信者たちであり、『幽霊ギルド』の創立メンバーでした。『[ウェストコットとホートの思想と神学](#)』
- G.V.スミス...彼はユニテリアン派（三位一体を否定。イエス・キリストの神性を否定）の学者でした。彼はイエス・キリストの神性も、あがないも、聖書の靈感も否定しました。

彼は、RVがユニテリアン派の教えを支持するものであることを、はっきりと信じていました。

『[G・V・スミスについて](#)』

このG.V.スミスについて、次のような記録があります。

スミスは**RV**翻訳委員会からは**ずそう**する試みがなされた時、ウェストコット、ホート、スタンレー、サールウォールはスミスに味方し、「スミスが**はずされる**なら、我々は辞める」と脅しました。

この卑劣な出来事は、[ジョン・W・バーゴン](#)師著の『The Revision Revised』の序文の中で、[A.G.ホブズ](#)氏によって記されています。

[スミスが聖餐式に参加したことにより] 『何千人もの聖職者たち』による抗議の署名がなされ、**英国上院**は、次のことを**決議**しました。

『我々の主なるイエス・キリストの神性を否定する者はだれも、
欽定版聖書改訂の委員として加わるべきではない。...』

これは**下院**でも議決されました。それにもかかわらず、彼らはこの不信者をその委員会からは**ずす**ことができませんでした。

驚くべきことに、**スタンレー**監督、**ウェストコット**、**ホート**、**サールウォール**監督はみな、**もしスミスが追放されるなら、この任に就くことを拒む**と主張しました。

聖書が、『**なぜなら、その人に喜びのあいさつを言う人は、その人の邪悪な行いにあずかるからです**』（第二ヨハネ9～11）と教えていることを思い起こそうではないでしょうか。

非常に多くの箇所**でキリストの神性が軽んじられているのは、何ら不思議ではありません**」

A.G.ホブズ、『The Revision Revised』（バーゴン師著）の序文

スミスは、**RV**における聖書本文の数々の変更も、ウェストコットとホートによるギリシャ語新約聖書も、**自分の神学を反映**しているものであると証言しました。

KJV聖書（欽定訳聖書）よりも現代版の本文のほうが神学的に優れているものとしてスミスが挙げた箇所のいくつかは、**ローマ9・5、第一テモテ3・16、テトス2・13、そして第一ヨハネ5・7**でした。

そして、その理由は、その批判的な本文のそれらの箇所では、**キリストの神性**（これはスミスが拒んだことでした）が**弱められているから**、ということなのです。

[The Unitarians & Modern Critical Greek NTs](#)

● 委員会から追い出されたスクリブナー博士

[F.H.A.スクリブナー博士](#)は、非常に学識のある神の人であり、新約聖書の写本および聖書本文の歴史に関し、当時、最も有能で卓越した本文批評学者でした。（TR編纂者の一人）

当初、彼はその委員会に関わっており、その流れをせき止めようとしたのですが、投票によって委員会から追い出されました。

ホートは大多数のメンバーに対し、自分とウェストコットとの翻訳を受け入れるよう説き伏せ、それ以外のどんな意見もほとんど除外しました。



主導者のF.J.A.ホートについて、さらに見てみましょう。

● 「TR打倒」の野心を抱いていたホート

フロイド・N・ジョーンズ博士はこう述べています。

「F.J.A.ホート(1828年～1892年)は、1851年(23歳の時)、こう書き記しました。

「ギリシャ語聖書をほとんど読んだことがなく、あの悪辣(あくらつ)なTRにずっと引きずられてきた私は、数々の聖書本文が重要であることを、つい数週間前まで全く考えていなかった。

あの悪しきTRが……」(注1)

このように、わずか23歳の時、ホートは自分には予備的な背景がほとんどないことを認めて、TRを「悪しき」、「悪辣(あくらつ)な」ものであると決めつけたのです。

その時、彼はこのTRを打倒することに自分の人生を献げ、それを別の本文に取り替えようと考えたのです。

《F.N.ジョーンズ博士》



彼が最終的にTRと置き換えた聖書本文が、バチカン写本でした。

この決断をした時、若きホートは古典ギリシャ語を学ぶ学生であり、新約聖書がそのギリシャ語で書かれたのではないことを知っていませんでした。

TRで記録されている**新約聖書のギリシャ語**が古典ギリシャ語の構文に厳密に則してはいなかったため、ホートはそれを「**粗悪なギリシャ語**」(注2)とみなしたのです。

この**思い違い**のため、彼は性急にも、**TR**を「**悪しき**」、「**悪辣な**」ものと呼んだのです。

実際、新約聖書が古典ギリシャ語では書かれたのではなく、**コイナー**という標準ギリシャ語で書かれたことを証明したエジプトのパピルス写本は、まだ発見されていなかったのです」

(注1) A.F.Hort (息子) 著 『[父] F.J.A.ホートの生活と手紙』

"Life and Letters of Fenton John Anthony Hort,第一巻 p.211

(注2) J.P.Green,"Unholy Hands on the Bible",Vol.2,p.454

● 聖書本文RVの編集者たちとは？

おもな三人の委員は、次のような人々でした。(E-1)

■ B.F.ウェストコット

RV編集を主導

- **悪霊との交信者**
- 『**幽霊ギルド**』を設立して心霊術に関わり、オークランド城(イギリス)やペテルブルグの大聖堂(ロシア)で悪霊との「**交信**」を行った。
- **進化論を支持**
- **イエス・キリストの神性を否定**
- **聖書の靈感を否定**

RV編集者



■ F.J.A.ホート

RV編集を主導

- **悪霊との交信者**
- 『**幽霊ギルド**』を設立して心霊術に関わった。以前はウェストコットの弟子であった。
- **TRを敵対視**した。
- **進化論を支持**
- **イエス・キリストの神性を否定**
- **聖書の靈感を否定**

■ G.V.スミス

RV編集委員

- **ユニテリアン派**
- **三位一体を否定**
- **イエス・キリストの神性を否定**
- **イエス・キリストのあがないを否定**

● 聖書の靈感を否定

つまり、これらのRVの編集者たちは、

- 【イエス・キリストの神性を否定する】
- 【聖書の靈感を否定する】
- 【TRを敵対視する】
- 【悪霊との交信者】 や 【ユニテリアン派】 の人々であり、

彼らの思想・信念は、こうでした。

- 【イエス・キリストの神性を否定】
- 【聖書の靈感を否定】
- 【イエス・キリストのあがないを否定】
- 【三位一体を否定】
- 【進化論を支持】



このような人々から成る委員会での『話し合い』によってRVが編集されて作られたのです。

彼らは何をしたのでしょうか？

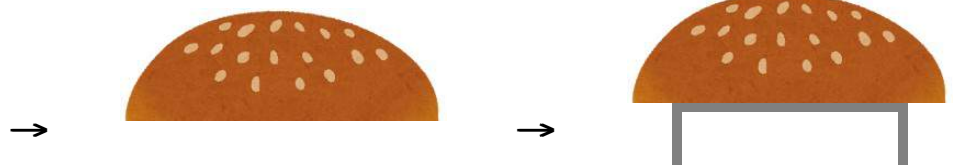
● 聖書本文のすり替え

1881年、イギリスの『聖書改訂委員会』は、英国国教会が与えていた指示に反して事を進め、非常に異質の新約聖書を作り出しました。(E-1)

この委員会が行ったのは、それまでの聖書の基となっていたTR聖書本文を取り除き、RV聖書本文で入れ替えることでした。全く驚くべき、大変化が強行されたのです！ (下図参照)

これは、ハンバーガーに使う『牛肉』を、『米国産』の肉から『国産』の肉への変更という程度の『改訂』ではありませんでした。

これはまさに、『牛肉』から『大ネズミ』の肉への『すり替え』でした！





しかも、このことは、「キリスト教界でほとんど知られない事実、嚴重に保護された秘密」とされてきました。

《F.N.ジョーンズ博士》



「彼らは、単に英語という言語を改善するのではなく、**根本的に異なる**ギリシャ語本文**RV**を作り出し、**非常に異質の聖書**を作り出しました。

その委員会は**TR**を価値のないものとして**排除**し、**全く異なる聖書**を作り出したのです。

このことは、キリスト教界でほとんど知られていない事実であり、嚴重に保護されてきた秘密の一つです。これらの出来事について知っている人々、信徒、あるいは牧師は、ごくわずかです。

その委員会が作り出したものには『改訂版』（Revised Version **RV**）という**誤解を招く名前**が付けられましたが、それは本当は『改訂版』ではありませんでした」

（フロイド・N・ジョーンズ博士 **E-1**）



この**RV**に基づく聖書を、それまでの**KJV**聖書（欽定訳聖書）の『改訂版』あるいは『改善版』と思っている人は、現在も多くいるはずです。

なぜなら、この聖書本文の『**すり替え**』の事実が正しく伝えられないまま、モダニズム、合理主義、**ユニテリアン主義**、**リベラル主義**などの潮流の中で、アメリカの**神学校**や**聖書大学**などで**RV**に基づく聖書が広まるようになり、今日に及んでいるからです。

そのため、「**神学教育を受けた人ほとんどの人は**、『**TR**聖書本文～**KJV**聖書』について**知らずにいる**」（第一部**デイビッド・クラウド**氏『知らされていない事実』参照）という状況が続いているのです。

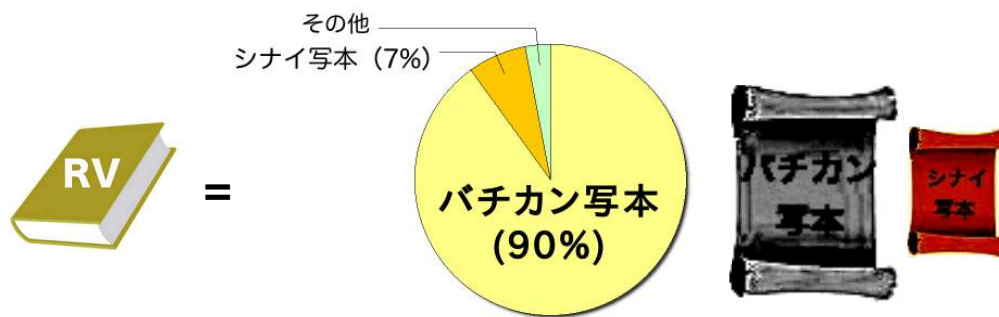
こうして、1881年、そこに突然現れたのは、『**根本的に異なるギリシャ語本文**』でした。
次に、この聖書本文の構成を調べてみましょう。

● 聖書本文RVの構成

このRVの構成要素は、何なのでしょう？

フロイド・N・ジョーンズ博士を初めとする専門家たちは、こう分析しています。

- 「聖書本文RVの**90パーセント**は一語一語がそのまま**バチカン写本**からのものであり、残りの10パーセントのうち、約**7パーセント**は**シナイ写本**からのものです。...



現代の数々の聖書本文は、その**90パーセント**は**バチカン写本**を土台とし、**7パーセント**は**シナイ写本**を土台とし、約2.5パーセントはアレクサンドリア写本を土台とし、残りの0.5パーセントは他の少数の初期の大文字写本を土台としています」

(フロイド・N・ジョーンズ博士 [E-1](#))

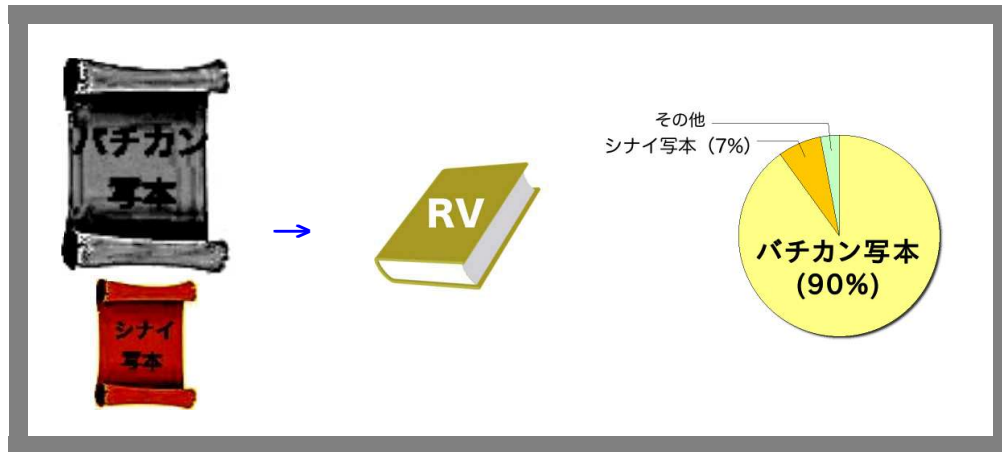
- 「このギリシャ語本文 (RV) は、おもに**バチカン写本**および**シナイ写本**に従っています」
(["New Commentary"](#) ほか)
- 「ホートは**バチカン写本**を**権威の座**へと高めました」 (フレデリック・ケニヨン博士)

- 「**バチカン写本**の中のページが欠けている場合、ホートは**シナイ写本**を使用しました。
ホートとウェストコットは、この二つの写本の読み方が一致する場合は、その読み方を『使徒的なもの』として受け入れるべきだとみなしたのです。...

ウェストコットとホートの本文 (RV) は、**実質的に、すべてバチカン写本**なのです」

(ジャスパー・J・レイ師およびホスキアー師)

つまり、**バチカン写本・シナイ写本**から、プロテスタントのクリスチャンたちに受け入れられる66巻の聖書を作り出すために、ウェストコットとホートらの委員会によって『加工』が施され、聖書本文**RV**が作られたのです。



こうして、**RV**は、**主成分**が**バチカン写本**であり、おもな**副成分**が**シナイ写本**であることがわかります。

まとめると、こうなります。

★**RV**は、**バチカン写本・シナイ写本**に由来する。

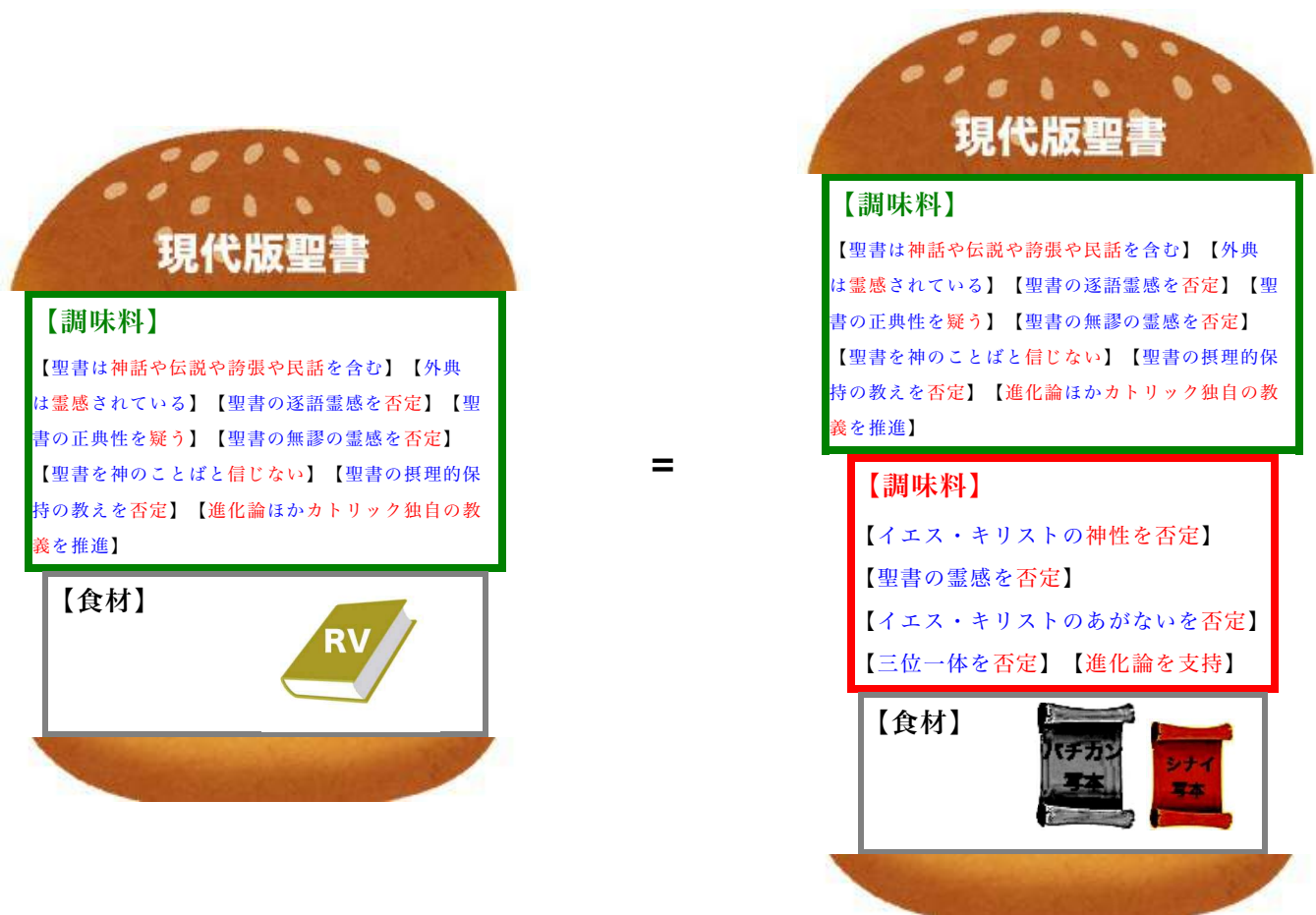
★**RV**は、**主成分**が**バチカン写本**であり、おもな**副成分**が**シナイ写本**である。



《**RV**の編集者たちの**思想・信念**》

- 【イエス・キリストの**神性を否定**】
- 【聖書の**靈感を否定**】
- 【イエス・キリストの**あがないを否定**】
- 【三位一体を**否定**】
- 【**進化論を支持**】

これを、第一部で作られたハンバーガーに当てはめると、こうなります。



《第一部・第二部のまとめ》

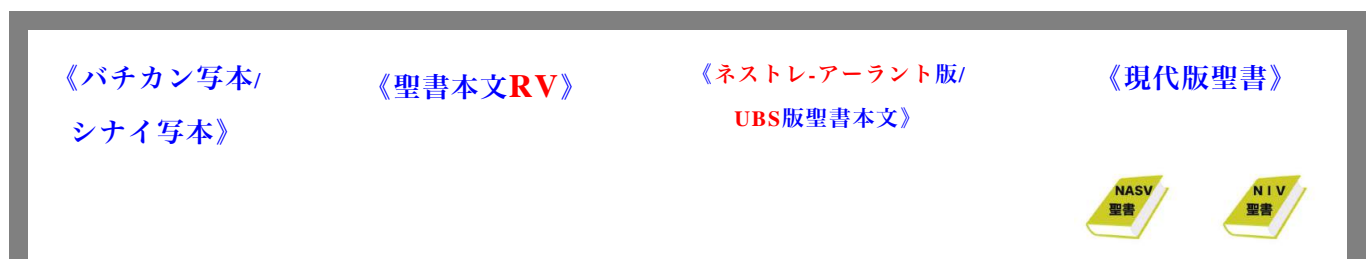
第一部でUBS版・ネストレ-アーラント版に基づく現代版聖書に関して導き出された結果は、こうでした。

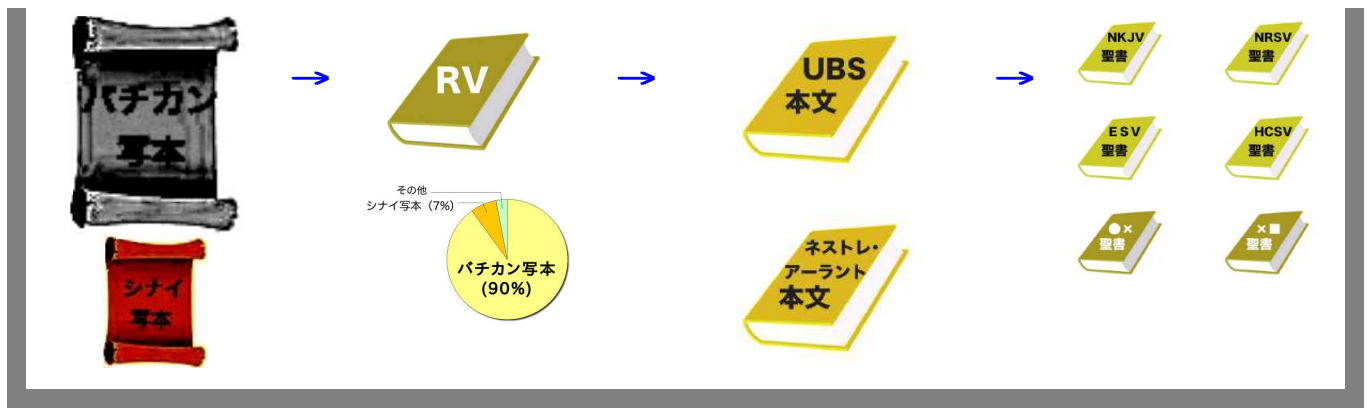
「現代版聖書は、おおむね、聖書本文RVに由来する」

そして第二部では、そのRVがバチカン写本・シナイ写本に由来していることを見ました。

したがって、現代版聖書は、RVを経由して、この2写本に大きく依存していることがわかります。

第一部と第二部をまとめると、次の図式と結果が導き出されます。





★現代版聖書は、おおむね、バチカン写本・シナイ写本に由来する。

★現代版聖書は、主成分がバチカン写本であり、おもな副成分がシナイ写本である。

おもな『RV編集者』は、次の通りです。

■ B.F.ウェストコット

RV編集を主導

- 悪霊との交信者
- 『幽霊ギルド』を設立して心霊術に関わり、オークランド城（イギリス）やペテルブルグの大聖堂（ロシア）で悪霊との「交信」を行った。
- 進化論を支持
- イエス・キリストの神性を否定
- 聖書の靈感を否定

RV編集者



■ F.J.A.ホート

RV編集を主導

- 悪霊との交信者
- 『幽霊ギルド』を設立して心霊術に関わった。以前はウェストコットの弟子であった。
- TRを敵対視した。
- 進化論を支持
- イエス・キリストの神性を否定
- 聖書の靈感を否定

■ G.V.スミス

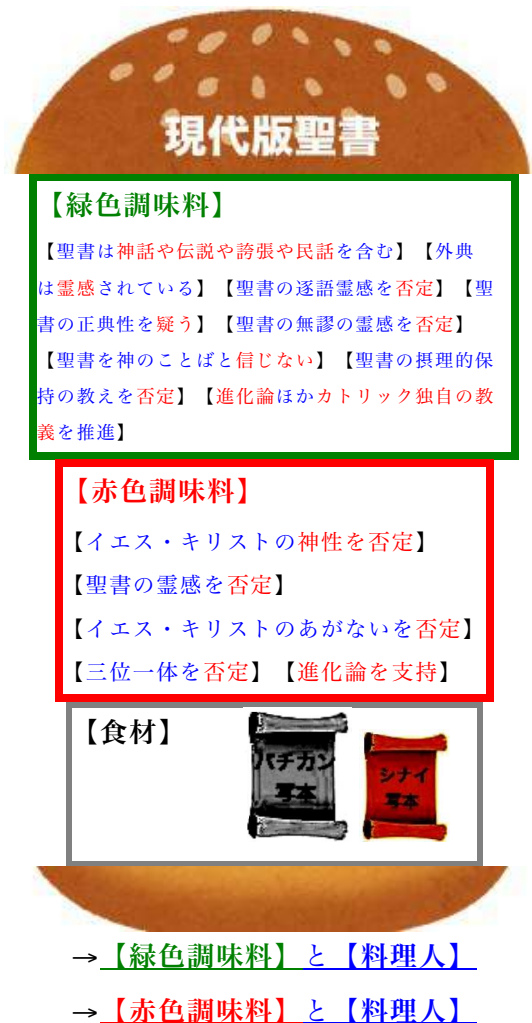
RV編集委員

- ユニテリアン派
- 三位一体を否定
- イエス・キリストの神性を否定
- イエス・キリストのあがないを否定
- 聖書の靈感を否定

ここまでのことから、『現代版聖書』というハンバーガーを分析してみましょう。



=



すなわち、こうして出来上がったハンバーガー（現代版聖書）とは、

- 【1】まず、B.F.ウェストコット、F.J.A.ホート、G.V.スミスらの『料理人』が、バチカン写本・シナイ写本という【食材】の上に自分たちの思想・信念という『赤色調味料』を加え、
- 【2】次に、その上に、K.アールト、M.ブラック、B.M.メッツガー、マルティニらの『料理人』が自分たちの思想・信念という『緑色調味料』を加え、
- 【3】最後に、それが翻訳されて作られた『合成化合物』なのです。

言い換えると、こうなります。

このハンバーガー（現代版聖書）とは、おおむね、

- 【1】まず、RVの編集者たち、すなわち、

- 【イエス・キリストの神性を否定する】
- 【聖書の靈感を否定する】
- 【TRを敵対視する】
- 【悪霊との交信者】や【ユニテリアン派】という人々により、



- 【イエス・キリストの神性を否定】
- 【聖書の靈感を否定】
- 【イエス・キリストのあがないを否定】
- 【三位一体を否定】
- 【進化論を支持】



という彼らの**思想・信念**をもって【食材】であるバチカン写本・シナイ写本からRVが作られ、

【2】次に、現代版聖書の編集者たち、すなわち、

- 【聖書の逐語・無謬の靈感を否定し、神のことばと信じない】
- 【不可知論者との共著者である】
- 【キリスト教の根本教理に大胆に反対する】
- 【カトリック的統合に向けてエキュメニカル運動を推進する】人々により、



- 【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】・【外典は靈感されている】
- 【聖書の逐語靈感を否定】・【聖書の正典性を疑う】
- 【聖書の無謬の靈感を否定】・【聖書を神のことばと信じない】
- 【聖書の摂理的保持の教えを否定】
- 【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】



という彼らの**思想・信念**をもってネストレアーラント版/UBS版聖書本文が作られ、

【3】最後に、それが翻訳されて作られたものです。

したがって、現代版聖書を『読む』とは、
この【食材】も、『赤色調味料』も、『緑色調味料』も、
全部自分の内に取り込むことを意味します！

また、ハンバーガー（現代版聖書）の『ショップ』であり『生産工場』である聖書協会UBSが、次のような団体であることもわかりました。



1 設立当初から『ユニテリアン派』の影響を大きく受けている

1. 設立の目的として『ローマ・カトリック』の福音を伝えることである。
2. 要職に**枢機卿**が就任するなど『ローマ・カトリック』との関わりが深い。
3. 『その人の私的な信条がどのようなものであれ』『教派や教理の相違に関係なく』という姿勢をもって『**エキュメニカル運動**』を推し進めている。

次の第三部（準備中）では、この【**食材**】である**バチカン写本・シナイ写本**を調べることにしましょう。

《 神のことば 》

「なぜなら、私たちは、**神のことばに混ぜ物**をしている、あの多くの者たちのようではないからです」（第二コリント 2・17）

「私たちは...恥ずべき隠されたことを棄て、悪賢さをもって歩むことをせず、**神のことば**にごまかしを行うこともせず、...

(**D-1** 第二コリント 6・14～18)

《 現代版聖書のルーツ 3 》

[PDFファイル](#)

■ 第三部 バチカン写本・シナイ写本とは？

● 聖書の真の『写本』とは？

これまでの学びで、現代版聖書の中核となっているものがバチカン写本・シナイ写本であることを見てきました。この二つの文書には『写本』という名前が付けられていますが、聖書の真の『写本』とは、いったいどのようなものなのでしょうか？

次の二つの問いに、あなたはどのように判断するのでしょうか？

【例題1】

『古代の写本らしきもの』が発見されたと仮定します。

そこには、ギリシャ語でこう書かれてありました。

『人は水と御霊から生まれなければ、神の国に入ることはできません』



さらに詳しく調べた結果、それが紀元1世紀か2世紀のものであることが判明したとします。

これが聖書の真の『写本』である可能性はあるのでしょうか？ ないのでしょうか？

【例題2】

同じく『古代の写本らしきもの』が発見されたと仮定します。

そこには、ギリシャ語でこう書かれてありました。

『人はだれも、四人の処女の服を着せてもらわなければ神の国に入ることはできない。

人は、この四人の処女の服をも受けなければ、神の御子の名を受けるだけでは何の役にも立たない』



さらに詳しく調べた結果、それが紀元4世紀のものであることが判明したとします。

これが聖書の真の『写本』である可能性はあるのでしょうか？ ないのでしょうか？

- 聖書を知っている敬虔な聖徒たちであれば、【例題1】については、こう考えるのではないのでしょうか？

「これはヨハネの福音書3・5を書き写した聖書の真の『写本』である可能性が大きい。

これは聖書の真の『写本』にちがいない...」

そして、【例題2】については、こう推測するのではないのでしょうか？

「これは聖書の真の『写本』ではない。このような教えは聖書の他の箇所にはどこにも書かれてなく、むしろ

ろ、全く**食い違っている**内容である。これは『**何らかの異端文書の遺物**』にちがいない...」

そして、彼らが**聖書の真の『写本』**だけを集める敬虔な学者たちであるなら、このような『**遺物**』を、**5000**を超える**聖書の真の『写本群』**とは無関係のものとして、ただちに**排斥**することでしょう。

ところが、実は、上記の『**何らかの異端文書の遺物**』と推測される内容、『**人はだれも、四人の処女の服を着せてもらわなければ神の国に入ることはできない.....**』が、**バチカン写本**にも**シナイ写本**にも書かれているのです！

この2写本は、いったいどういうものなのでしょうか？

● 99%の多数派写本と合致しない『異質』の2写本

フロイド・N・ジョーンズ博士は、こう分析しています。

「新約聖書の真の本文を証言するギリシャ語の写本は、総計で**5262**あります。そのうちの**5217**の写本、すなわち、**99パーセント**は相互に合致しています。

《F.N.ジョーンズ博士》



それ以外のもの（**バチカン写本・シナイ写本**など）は、**この99パーセントの多数派の写本と合致していない**だけでなく、それら少数派写本同士の間でも**合致していません**」 (B-2)

《99パーセント超の多数派写本》

《ギリシャ語の写本（総計）》

（総数 5262）



その他



(フロイド・N・ジョーンズ博士)

ここで、写本を『羊』にたとえてみることにします。次のようなイメージになります。

5000匹を越えるたくさんの**白い羊たちの群れ**（多数派の写本、すなわち、**TR**に合致する**5000**を越える**聖書写本群 [B-2]**）がありました。

白い羊たちには**共通点**が多く、**互いに合致**しており、仲良く生活していました。

白い羊たちの中で最も古参の羊は、**紀元66年生まれ**です。（新約聖書の**世界最古の写本**は、**紀元66年**の**マグダレン写本[TR]**です。→**B-3**参照）

ところが、**それから三世紀も後の四世紀**になってから、**突如**、**二匹の異様な生き物**が現れました！

すなわち、**一匹の黒い生き物**（**バチカン写本**）と、**一匹の赤色の生き物**（**シナイ写本**）です。（下図）

《**5000匹を越える**たくさんの**白い羊たちの群れ**》

（後に**TR**となる**5000**を越える**聖書写本群**）



《**二匹の異様な生き物**》



← 《対立》 →

ただし、この二匹は、白い羊たちとは**非常に異質の存在**であり、白い羊たちの群れとは全くなじみません。その二匹の生き物の間にも、**互いに合致しないもの**があります。

バチカン写本とシナイ写本のイメージは、ちょうど、この二匹の異様な生き物に似ているのです。

なぜでしょうか？

なぜなら、この二匹は、その**本質**(内容)も、**外観**も、その**飼い主**(作者)も、**白い羊たちの群れのそれと**は**根本的に全くちがう**からです！

● 《外典》と《聖書の一部》から成るバチカン写本とシナイ写本

第二部で、**RVの主成分**が**バチカン写本**であることを見ました。

次に、この**バチカン写本**の**内容**を見ることにしましょう。(シナイ写本についても同様です。→[D-9](#)参照)

バチカン写本もシナイ写本も、それぞれ、**《外典》** + **《聖書の一部》** から成り立っています。

《外典》には、『バルナバの手紙』『トビト書』『ヘルマスの牧者』などの書が含まれています。

《聖書の一部》に含まれるのは、正典の聖書66巻のうちの一部であり、しかも、その「改ざん版」です。

たとえば、バチカン写本は、『創世記』の**約91%が欠落**しており、『詩篇』の**約22%が欠落**しています。また、新約聖書の、『テモテへの第一の手紙』・『テモテへの第二の手紙』・『テトスへの手紙』・『ピレモンへの手紙』・『ヨハネの黙示録』の**100%全部が欠落**しています。

また、『ヘブル人への手紙』の**約53%**の分量となる後半全体も**欠落**しています([D-9](#))。

《外典》

たとえば、

『バルナバの手紙』

『トビト書』

『ヘルマスの牧者』

.....

.....

《バチカン写本》

全759ページ



《聖書の一部》

ただし、次の横線のものは**欠落**

~~『創世記』~~ (約**91%**が欠落。1・1～46・28が欠落)

~~『詩篇』~~ (約**22%**が欠落。106篇～138篇が欠落)

~~『テモテへの第一の手紙』~~ (**100%**が欠落)

~~『テモテへの第二の手紙』~~ (**100%**が欠落)

~~『テトスへの手紙』~~ (**100%**が欠落)

『ピレモンへの手紙』 (100%が欠落)

『ヘブル人への手紙』 (約53%が欠落。9・15～13・25が欠落)

『ヨハネの黙示録』 (100%が欠落)

『マタイによる福音書』 16・2、3

『マルコによる福音書』 16・9～20

『ローマ人への手紙』 16・24.....など

次に、バチカン写本・シナイ写本の中の、【1】《外典》に書かれていること・【2】《聖書の一部》に書かれていることを順に見ていくことにしましょう。

【1】バチカン写本・シナイ写本の中の《外典》に書かれていること

このバチカン写本・シナイ写本の《外典》には、いったいどんなことが書かれているのでしょうか？

■事例1 『バルナバの手紙』には、こう書かれています。

- ユダヤ人は、もはや神との契約の中にはいない。
- モーセは、豚を食べることを禁じた。これは、豚のような人々と交わってはならないことを意味する。彼らは快樂の中で生きている間は自分の神を忘れていたが、何かに不足して苦しむと、主を認めるようになる。ちょうど、豚が、満腹の時は自分の主人を認めようとしませんが、空腹になれば騒ぎ立て、そしてまた餌をもらおうと、おとなしくなるように。
- モーセは、あなたはワシも、タカも、トビも、カラスも食べてはならないと言っている。これは、自分の労苦と汗で自分の食物を得るすべを知らず、かえって、他人の物を不当に盗み、他人にわなを掛けようと思張っているが、外見は全く無実であるように見せている者たちとは交わってはならない、ということである。
- モーセは、ヤツメウナギや多足動物やイカを食べてはならないと言っている。これは、完全に邪悪で、死の宣告を受けている者たちと交わることに慣れてしまい、自分もそのような者たちになってはならないということである。なぜなら、これらの魚は、呪われており、泥の中をころげ回っており、他の魚のように泳がず、かえって、深みの底の汚物の中でのたうち回っているからである。
- モーセは、ウサギを食べてはならないとも言っている。何のためか？ これは、姦淫者になってはならないこと、そのような者になってはならないことを我々に示すためである。なぜな

ら、ウサギは毎年、自分の妊娠の場所を増やすからである。ウサギは何年も生き、そういう場所を多く持っている。

- あなたはハイエナを食べてもならない。これも、姦淫者になつてはならない、他人を滅ぼす者になつてはならない、そのような者になつてはならないということである。なぜ、そうなのか？ なぜなら、この動物は毎年その性質を変え、ある時はオスになり、ある時はメスになるからである。
- またその理由で、モーセはいみじくもイタチを嫌つたのである。すなわち、自分の汚らわしい理由から自分の口で邪悪な行為をする者たちのようにならないため、口で邪悪な行為をする不純な女たちと交わらないためである。なぜなら、この動物は口で妊娠するからである。……

『バルナバの手紙』

ここに書かれているのは、プロテスタントのクリスチャンたちにとっての正典である旧約聖書39巻にも新約聖書27巻にも書かれていないことではないでしょうか？

モーセという名前を使っていますが、上記の内容はモーセ五書(創世記から申命記まで)には書かれていないことや、聖書全体の教えに反することではないでしょうか？

■事例2 『トビト書』には、「悪霊どもを撃退して追い出す方法」も、「病気をいやす方法」も、「罪を清める方法」も書かれており、こう教えています。(D-10「トビト書」の事例参照)

- トビトはスズメの糞によって盲目にされた。
- 魚の心臓と肝臓を焼いて生じる煙が、悪霊どもを撃退して追い出す。
- 魚の胆のうが、盲目をいやす。
- 施し(良い行い)が、すべての罪を清める。……

『トビト書』

ここに書かれていることを信じて、「魚の心臓と肝臓を焼いて生じる煙」で悪霊を追い出すことに成功した人々がいたのでしょうか？

「魚の胆のう」で目が見えるようになった人々がいたのでしょうか？

「施し(良い行い)が、すべての罪を清める」は、正典の66巻の聖書の教えとは正反対のことではないでしょうか？

■事例3 『ヘルマスの牧者』には、一人の天使(牧者)が語ることばとして、こう書かれています。(D-10「ヘルマスの牧者」の事例参照)

- 「人はだれも...四人の処女の服を着せてもらわなければ神の国に入ることにはできない」
- 「人は、この四人の処女の服をも受けなければ、神の御子の名を受けるだけでは何の役にも立たない。……」

『ヘルマスの牧者』

これも同様です。「四人の処女の服を着せてもらわなければ神の国に入ることにはできない」は、正典の聖書の教えではありません。

■ 《外典》に書かれているこれらのことばは、聖なる神のことばでしょうか？

これらは、聖霊による靈感を受けて書かれたみことばでしょうか？

次のことを想像してみてください。

敬虔なクリスチャンの聖徒が、ある『キリスト教会らしきもの』の集会に出席し、そこでバチカン写本とシナイ写本による『説教』を聞いたとします。

もし、その聖徒が、次のように告げることばを一言でも聞いたとすれば、どう思うでしょうか？

- 「ユダヤ人は、もはや神との契約の中にはいません！」
- 「モーセは、ウサギを食べてはならないと言いました。姦淫者にならないためです！」
- 「悪霊から解放されたい人はいますか？ 魚の心臓と肝臓を焼いて生じる煙を使って追い出しましょう！」
- 「盲目の人はいますか？ 魚の胆のうでいやされます！」
- 「天国に入りたい人は、四人の処女の服を着せてもらわなければなりません！」
- 「罪を清めてもらう方法は、施し（良い行い）をすることです！」……

もし、そのようなことを聞いたなら、天国に行きたいと真剣に願う聖徒には、すぐにそこから離れ去ることをおすすめします！

これらは、66巻の正典から成る聖書を信じるクリスチャンたちにとっては、異端の教え以外の何ものでもありません！

白い羊たちの群れ（多数派写本）が、なぜ、一匹の黒い生き物（バチカン写本）や、一匹の赤色の生き物（シナイ写本）を仲間に加えることができないか、おわかりのはずです。

この二匹の異様な生き物は、敬虔なクリスチャンたちから見れば、『とんでもないこと』を主張している異端的存在なのです！

《5000匹を超える

白い羊たちの群れ》

(後に**TR**となる**5000**を
越える**聖書写本群**)



← 《対立》 →

《二匹の異様な生き物》

(後に**RV**となるもの)



- 「ユダヤ人は、もはや神との契約の中には**いな**い！」
- 「ウサギを食べてはならない、姦淫者にならないために！」
- 「悪霊から解放されたい人は**煙**を使って追い出さない！」
- 「盲目の人は**魚の胆**のうでいやされる！」
- 「天国に入るには、**四人の処女の服**を着なければならない！」
- 「罪を清めてもらうには、**施し**をすることだ！」

.....

『とんでもないこと』を主張する**異端的存在**！

《まとめ》

これまでのことを整理すると、こうなります。

- **バチカン写本・シナイ写本**は、
5000を超える**99%**の**多数派写本**と合致しない、『**非常に異質の2写本**』である。
- その中身は、《**外典**》と《**聖書の一部**》であり、
その《**外典**》に書かれていることは、『**異端の教え**』にほかならない。

【2】 バチカン写本・シナイ写本の《聖書の一部》に書かれていること

次に、バチカン写本・シナイ写本の中の《聖書の一部》について見てみましょう。

この2写本に書かれている「ことば」は、信頼できる『聖書本文』なのでしょうか？

この2写本は信頼できる『聖書』なのでしょうか？

RVが作られた時期とほぼ同時期にこの2写本を検証した聖徒たちがいます。

彼らが下した評価と判断を見てみましょう。(D-11参照)

- 英国国教会の地方監督ジョン・W・バーゴン師 [1813年～1888年] は、五年半を費やして「福音書の大文字の五つの写本を検証」し、こう宣言しました。

「非常に明らかなのは、この二つの写本（バチカン写本およびシナイ写本）が**いずれも**、そして**この二つだけが損なわれている**ことです。

そのため、私たちはそれらの写本を、靈感された聖書原文の二つの別個の証拠として受け入れるのではなく、ひどく**くずれた**（改ざんされた）、そして比較的**後期**の同じ一つの写本からの**複製にすぎないもの**と考えざるを得ません」

《ジョン・W・バーゴン》

「福音書だけでも、バチカン写本は**1491回以上**、単語や節全体を**削除**しています。

すべてのページに、**不注意な書き写し**の痕跡があります。

シナイ写本は、全く比類のないほどの、目とペンでの**エラーに満ちています**。

10語、20語、30語、40語の単語が、とても不注意なために**抜けている**ことが、多くあります。

文字や単語、そして文章全体までもが、二度繰り返し書かれていることが、しばしばあります。あるいは、書き始めて、すぐに**中断**されていることもあります。...



「何の躊躇もなく言えるのは、これらは、**最もひどく腐敗**している（くずれている）**三つの写本**であることです。...

また、それらは、**偽造**された読み方、古代の**とんでもない間違い**、および、真理を**意図的にゆがめたもの**などが**大量にある倉庫**となっています」

- 1864年、[F.H.A.スクリブナー博士](#)は、『シナイ写本の完全な検証』という本を発行しました。

(スクリブナー博士は、非常に学識のある神の人であり、新約聖書の写本および聖書本文の歴史に関し、当時、最も有能で卓越した本文批評学者でした)

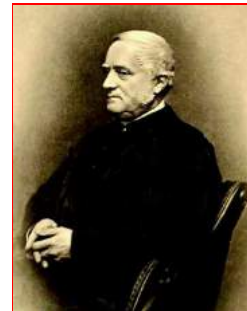
その著書の中で、スクリブナー博士はこう述べています。

「シナイ写本は、少なくとも十人の別々の改訂者によって行われよう
な**改ざん**（明らかに**修正**が行われたという性質の改ざん）**だらけ**で
す。

すべてのページに体系的になされている**改ざん**もあれば、この写
本の数々の箇所限定されている**改ざん**もあります。...

...一行分を埋めるのにぴったりの数の文字が時々**抜けて**いて、**文章**
の意味を完全に壊している...」

《スクリブナー博士》



スクリブナー博士は、「**数行が完全に抜けてしまっている**」数々の事例も引用しています。

また、「**書記者が、ある行の途中で、その下の行の途中の箇所へと飛んでしまった**」数々の事例も引用しています。

- [フィリップ・マウロ師](#)（1859年～1952年）はこう述べています。

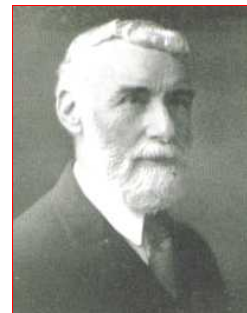
バチカン写本とシナイ写本は、**現存する写本全体のうちの99パーセントの写本と異
なっている**だけでなく、写本同士の間でも異なっています。

この**二つの写本**と、それ以外の**多数派の写本**には、**多くの相違点**が
あります。

福音書だけでも、バチカン写本は新約聖書本文**TR**と、次のよう
なちがひがあります。

- **バチカン写本**は、少なくとも2877語を**削除**しています。
- それは536語を**付け加え**ています。
- それは935語を**置き換え**ています。
- 2098語を**転置**しています。
- そして、それは1132語を**修正**しています。

《フィリップ・マウロ師》



こうして合計7578語の**改ざん**がなされています。

けれども、**シナイ写本**は、それ以上にひどいものです。

なぜなら、この写本の**改ざん**の合計が、**9000**近くにもなるからです。



[「シナイ写本とバチカン写本の検証」](#)

以上のことから、2写本の《**聖書の一部**》に書かれていることをまとめると、こうなります。

- **バチカン写本・シナイ写本**の《**聖書の一部**》に書かれていることは、
【**偽造**された読み方】【古代の**とんでもない間違い**】【真理を**意図的にゆがめたもの**】などが**大量**にある、『**改ざんされた聖書本文**』である。

● もし**真の『写本』**であるなら...

この2写本が、**聖書の真の『写本』**でないことは明白です。

もし、**真の『写本』**であるなら、聖書の原文（または写本）に書かれていることが、全く**変更**されることなく、全く**改ざん**されることなく、**そのまま、全部**の文字・文章が書き写されるはずです。

なぜなら、聖書自体がこう警告しているからです。

「もし、だれかがこれらのことに**付け加える**なら、神はこの書に書かれている数々の災害を、その人の上に付け加えられます。

そして、もし、だれかがこの預言の書のことばから**取り除く**なら、神は命の書から、また聖なる都から、またこの書に書かれている数々のものから、その人の分を取り除かれます」

(黙示録22・18、19)

● もし『**神のみことばを真剣に受け留める聖徒**』であるなら...

そのような『**神のみことばを真剣に受け留める聖徒**』であるなら、聖書のことばを、【**偽造された読み**

【方】にしたり、【真理を意図的にゆがめ】たりすることはあり得ず、どんな「削除」も、「偽造」も、「改ざん」もしないはずであり、書物の100%はおろか1%でも欠落させることはないはずです。

明らかに、バチカン写本・シナイ写本の作者は、『神のみことばを真剣に受け留める聖徒』ではなく、むしろ、それとは異なる意図を持った人物であることが予想されます。

《これまでのまとめ》

これまでのことを整理してみましょう。

- 表示すると、こうなります。

《外典》 = 異端の教え

たとえば、

『バルナバの手紙』

『トビト書』

『ヘルマスの牧者』 など

《バチカン写本》



+

《シナイ写本》



《聖書の一部》 = 改ざんされた聖書本文

【偽造された読み方】 【古代のとんでもない間違い】

【真理を意図的にゆがめたもの】 などが大量にある倉庫

次の横線の上は欠落 (バチカン写本)

『創世記』 (約91%が欠落。 1・1～46・28が欠落)

『詩篇』 (約22%が欠落。 106篇～138篇が欠落)

『テモテへの第一の手紙』 (100%が欠落)

『テモテへの第二の手紙』 (100%が欠落)

『テトスへの手紙』 (100%が欠落)

『ピレモンへの手紙』 (100%が欠落)

『ヘブル人への手紙』 (約53%が欠落。 9・15～13・25が欠落)

『ヨハネの黙示録』 (100%が欠落)

『マタイによる福音書』 16・2、3

~~『マルコによる福音書』16・9～20~~

~~『ローマ人への手紙』16・24……など~~

- そして、次のことがわかりました。

- バチカン写本・シナイ写本は、
5000を越える99%の多数派写本と合致しない、『非常に異質の2写本』である。
- その中身は、《外典》と《聖書の一部》であり、
その《外典》に書かれていることは、『異端の教え』にほかならない。
- バチカン写本・シナイ写本の《聖書の一部》に書かれていることは、
偽造された読み方、古代のとんでもない間違い、真理を意図的にゆがめたものなどが大量にある『改ざんされた聖書本文』である。

これらの事実は、何を意味するのでしょうか？

- 『異端者』が作る『異端聖書』とは？

次のことも考えてみてください。

もし、だれかキリスト教の異端者がキリスト教的な異端思想を広めようと考えて『異端聖書』を作ろうとすれば、どういうものを作ることになるのでしょうか？

その『聖書』は、当然、『独自の異端思想』を含む内容であるはずですが。

同時に、『キリスト教』として受け入れられるために、『聖書的要素』も取り入れる必要があります。

『聖書』、『神』、『律法』、『モーセ』、『天国』、『罪』などのキリスト教用語を使用し、『創世記』、『詩篇』、『...による福音書』、『...への手紙』なども一部取り込み、キリスト教の真の『聖書』であるかのように『錯覚』あるいは『誤解』させる可能性は大いにあります。

ただし、真の『聖書』を全部そのまま取り込むのではなく、それを独自の異端思想に適合させるはずですが。

したがって、真の聖書を『改ざん』したものが『聖書』として取り込まれることでしょう。

つまり、キリスト教異端者が作る異端聖書は、『異端思想を含む改ざん聖書』となるはずですが。

『異端聖書』 = 『異端思想』 + 『改ざん聖書』

まさに、その通りのことが見られるのが、バチカン写本とシナイ写本なのです！

《外典》

= 異端の教え

たとえば、
『バルナバの手紙』
『トビト書』
『ヘルマスの牧者』……など

- 「ユダヤ人は、もはや神との契約の中にはいない！」
- 「ウサギを食べてはならない、姦淫者にならないために！」
- 「悪霊から解放されたい人は煙を使って追い出さない！」
- 「盲目の人は魚の胆のうでいやされる！」
- 「天国に入るには、四人の処女の服を着なければならぬ！」
- 「罪を清めてもらうには、施しをすることだ！」……など



+

《聖書の一部》

= 改ざんされた聖書本文

【偽造された読み方】【古代のとんでもない間違い】【真理を意図的にゆがめたもの】などが大量にある倉庫

次の横線のものは欠落（バチカン写本）

- ~~『創世記』~~（約91%が欠落。1・1～46・28が欠落）
- ~~『詩篇』~~（約22%が欠落。106篇～138篇が欠落）
- ~~『テモテへの第一の手紙』~~（100%が欠落）
- ~~『テモテへの第二の手紙』~~（100%が欠落）
- ~~『テトスへの手紙』~~（100%が欠落）
- ~~『ピレモンへの手紙』~~（100%が欠落）
- ~~『ヘブル人への手紙』~~（約53%が欠落。9・15～13・25が欠落）
- ~~『ヨハネの黙示録』~~（100%が欠落）
- ~~『マタイによる福音書』~~16・2、3
- ~~『マルコによる福音書』~~16・9～20
- ~~『ローマ人への手紙』~~16・24……など

こうして、次のことがわかります。

★バチカン写本・シナイ写本は、

『異端の教え』と『改ざんされた聖書本文』から成る『異端聖書』である。

さらに、バチカン写本・シナイ写本の作者が、『神の厳肅なみことばを真剣に受け留める神の聖徒』ではなく、それとは異なる意図を持った人物であることも明らかなこととして予想されます。

次に、このバチカン写本・シナイ写本から、どのようにして66巻の聖書本文RVが出来上がったかを見てみましょう。

● バチカン写本・シナイ写本に施された合成加工

第二部で、RVの主成分がバチカン写本であり、おもな副成分がシナイ写本であることを見ました。このRVの構成要素をフロイド・N・ジョーンズ博士等の専門家たちは、こう分析しています。

- 現代の数々の聖書本文は、その**90パーセント**は**バチカン写本**を土台とし、**7パーセント**は**シナイ写本**を土台とし、約2.5パーセントはアレクサンドリア写本を土台とし、残りの0.5パーセントは他の少数の初期の大文字写本を土台としています」



(フロイド・N・ジョーンズ博士 [E-1](#))

- 「**バチカン写本**の中のページが欠けている場合、ホートは**シナイ写本**を使いました。...



ウェストコットとホートの本文 (RV) は、

実質的に、すべてバチカン写本なのです」



(ジャスパー・J・レイ師およびホスキアー師)

つまり、バチカン写本・シナイ写本から、プロテスタントのクリスチャンたちに受け入れられる66巻の聖書を作り出すために、加工が施されたのです。

● 2写本に施された『外典の除去』と『つぎはぎ細工』

● 『外典の除去』

...2写本は《外典》と《聖書の一部》から成り立っていましたが、そのうちの、《外典》の部分は除去されました。

● 『つぎはぎ細工』

...主成分であるバチカン写本に欠落していた『創世記』（約91%が欠落）、『詩篇』（約22%が欠落）、『テモテへの第一の手紙』・『テモテへの第二の手紙』・『テトスへの手紙』・『ピレモンへの手紙』・『ヨハネの黙示録』（100%全部が欠落）、『ヘブル人への手紙』（約53%が欠落）などは、シナイ写本等によって充当されました。



しかし、

『改ざん聖書本文』 + 『改ざん聖書本文』 = 『改ざん聖書本文』

『改ざん聖書本文』（バチカン写本）を別の『改ざん聖書本文』（シナイ写本等）で『つぎはぎ細工』をしても、加工後のRVも同じく『改ざん聖書本文』です！



66巻として数がそろい、見かけが変わっても、本質は変わっていません！

- これらの作業を行ったのは、『RVの編集者たち』でした。

したがって、次の結論が導き出されます。

- バチカン写本・シナイ写本は、

『異端の教え』と『改ざんされた聖書本文』から成る『異端聖書』である。

- バチカン写本・シナイ写本の『改ざん聖書本文』から作られたRVも、同じく『改ざん聖書本文』である。

次の第四部で、このバチカン写本・シナイ写本が、どこから生じ、だれが作ったかを見ることにしましょう。

《 現代版聖書のルーツ 4 》

[PDFファイル](#)

■ 第四部 オリゲネスの『改ざん聖書』とは？

第三部では、バチカン写本・シナイ写本が、『異端の教え』と『改ざんされた聖書本文』から成る『異端聖書』であることを見ました。

これらは、いったい、どういう異端者が作ったのでしょうか？

その答えは、シナイ写本自体の中に記されています！

● シナイ写本に書き込まれている『オリゲネス』

イギリス人の聖書学者アレクサンダー・スーター氏（1873～1949年）は、著書の中でこう述べています。

このシナイ写本とバチカン写本は、コンスタンティヌスが、カエサリアの監督エウセビウスに命じた、あの50冊の聖書のうちの二つであったと推測されています。...

このシナイ写本の本文には多くの『修正者たち』が関わっています。

おそらく最も興味深いのは、七世紀の一人の修正者です。

彼は（シナイ写本の）『エズラ記』への署名を、こう記しました。



これは、一冊の非常に古い写本によって照合された。

その写本は、殉教者、聖**パンフィルス**の手により照合されたものである。
その写本の終わりには、次のような、**パンフィルス自身の手**による**署名**があった。

「**オリゲネスの『ヘクサプラ』**（旧約聖書）から取られ、
それに準じて修正された。

アントニウスが照合した。

私、パンフィルスが修正した」

《オリゲネス》



パンフィルス（～309年）は、カエサリアの**エウセビウス**（～340年）から崇敬されていた**友人**です。二人はいっしょに、カエサリアに、パピルスの巻物の聖書および教父の著作物の**図書館**を設立しました。

その**図書館**の中核は、**オリゲネス**（185年頃～254年頃）による大量の**著作物**でした。

特に、**聖書**の数々の書の**オリゲネス版**と、その**解釈（説明）**でした。

『**エステル記**』の後にも、**同様の署名**が存在します。...

完全に明らかなのは、（シナイ写本の）旧約聖書の預言の部分が、エジプト人の書記者によって書かれたか、エジプト人によって書かれた「もとの写本」から写されたかの、いずれかであることです。...

この**シナイ写本の源**として、私たちは**エジプト**に目を向けなければならないように思われます。

Alexander Souter, "[The Text and the Canon of the New Testament](#)" p.21~（新約聖書の本文と正典 1913年）

この『**署名**』に書かれていることは、『**シナイ写本**』と『**オリゲネス**』を結び付ける重要な証言です。

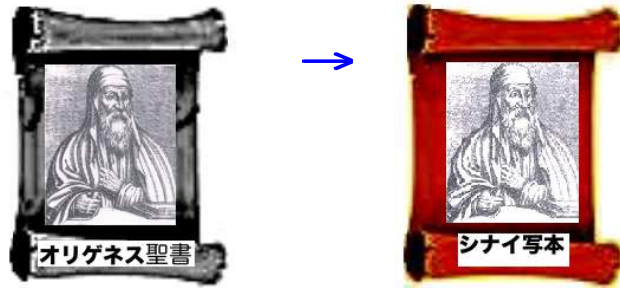
（同じ内容の証言は、『**カトリック百科事典**』 [Catholic Encyclopedia, Vol. 4, p. 86] にも記載されています）

すなわち、次のことが明らかです。

★**シナイ写本**は、**オリゲネスの『聖書』**に由来する。

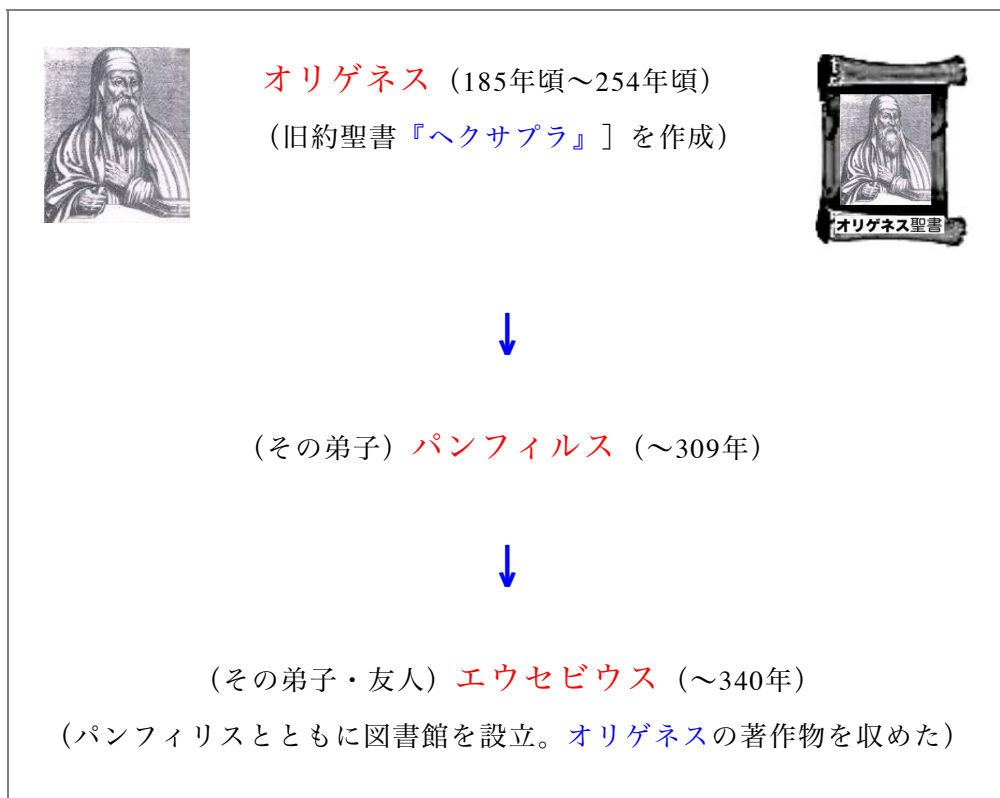
《オリゲネスの聖書》

《シナイ写本》



オリゲネスはエジプト生まれの人物であり、独自の旧新約聖書（旧約聖書は『ヘクサプラ』）を作りました。

オリゲネスの弟子がパンフィルスであり、パンフィルスの弟子かつ友人がエウセビウスでした。パンフィルスとエウセビウスは共同で図書館を設立し、オリゲネスの著作物をそこに収めました。



パンフィルスの死後、331年、エウセビウスはコンスタンティヌス帝からの指示を受けて50冊の聖書を用意しました。

このオリゲネスとは、いったいどういう人物だったのでしょうか？ さらに詳しく見てみましょう。

●オリゲネスとは？



■ギリシャ哲学の追従者

オリゲネスは、エジプトのアレクサンドリアにある学校の第三代の校長でした。ただし、その学校は、紀元180年に、ギリシャ哲学者のパンタエヌスによって設立されたものです。

オリゲネスは、新プラトン主義の創始者アンモニオス・サッカス（紀元170年～243年）から教えを受けていました。新プラトン主義は、アリストテレス論理学と東洋のカルトの教えとの奇妙な組み合わせです。

その哲学の追従者であるオリゲネスは、その見解をキリスト教に融合させようとしていました。

■聖書改ざん者

オリゲネスは広範囲に旅をし、どこでもギリシャ語の新約聖書を見つけると、それを自分の教理にぴったり合うように改ざんしました！

もちろん、彼は、自分はそれらの写本を「修正」しているだけだと考えていました。

しかし、神の人々が原文の読み方を変えることはないはずです。



オリゲネスには、一人の裕福な後援者（アンブロシウス）がいました。アンブロシウスは、七百人以上の速記者と、大ぜいの写字生、および、字の達筆な若い女性たちを用意し、オリゲネスが聖書を組織的に改ざんするのを援助しました（エウセビウス『教会史』）。

■オリゲネスの信念

その一部は、次の通りです。（詳細は→D-4《オリゲネスの信念》を参照）

- 彼は、「洗礼による生まれ変わり」を信じていました。（人は水のバプテスマによって救われるという信念）
- 彼は、「万人が救われることになる」と信じていました。すなわち、サタンおよび悪霊どもを含めて、すべてのものが最終的には和解されること、です。
- 彼は、「イエスは一人の被造物にすぎない」と信じていました。
- 彼は、「人は罪のない者となるために、煉獄れんごくに行かなければならない」と信じていました。この教理は、聖書のどこにも見出されません。
- 彼は、「聖餐式の時、パンとぶどう酒が実際にキリストの体と血に変わる（化体）」を信じていました。
- 彼は、「前世からの生まれ変わり」および「カルマ」を信じていました。すなわち、人のたましい

は、この現在の地上に存在するより前に、**別の世界で先に存在**しており、その前世からの祝福あるいは呪いを持ち込んだということです。

- 彼は、「**バプテスマを受けない幼児は地獄に行く**」ことをほのめかしました。
- 彼は、「聖書に書かれているようなイエスへの試みが本当に起こったとは、知的な人なら**信じる**ことが**できないはずだ**」と主張しました。

- オリゲネスは、**イエス様の言われたことを正す**ことさえしました。

マタイ13・38にある「種を蒔く人」のたとえの箇所、イエス様は、「畑とは、この世です」と言っておられます。

ところが、オリゲネスは、「**畑とはイエスであった**」と言いました。その後、彼は**考えを変えて**、**畑を「聖書のことだ**」としました。

- 彼は、「**聖書は、文字通りに解釈するものではない**」と信じていました。

(オリゲネスは、「**寓話的解釈**の父」でした)

- 彼は、実際に「**アダム**」が存在したことも、「**人間の墮落**」も**信じていません**でした。

また、「創世記一章～三章は、**文字通りに解釈すべきものではなく、歴史的な記述でもない**」と信じていました。

- 彼は、「マタイ十九章は、『**神の人は去勢を受けるべきであり、自分自身を去勢し続けていくべきである**』と**解釈するのが正しい**」と信じていました。...

まとめると、こうなります。

■ オリゲネス



聖書改ざん者

- 広範囲に旅をし、どこでもギリシャ語の**新約聖書**を見つけると、それを**自分の教理**にぴったり合うように**改ざん**した。
- **新プラトン主義**の創始者から教えを受けた。
- **イエスは一人の被造物**にすぎないと信じた。
- 『**前世からの生まれ変わり**』を信じた。
- 「**洗礼による生まれ変わり**」（人は水のバプテスマによって救われるという信念）を信じた。
- 「人は**罪のない者となるために、煉獄**（れんごく）に行かなければならない」と信じた。

オリゲネスの**思想・信念**は、こうでした。

【ギリシャ哲学】・【新プラトン主義】

【万人が救われることになる】・【イエスは一人の被造物にすぎない】

【人は罪のない者となるために煉獄に行かねばならない】・【前世からの生まれ変わりを信じる】

【バプテスマを受けない幼児は地獄に行く】・【聖書は、文字通りに解釈するものではない】

【アダムが存在も人間の墮落も信じない】・【創世記一章～三章は歴史的記述ではない】

★オリゲネスは、ギリシャ哲学の影響を受け、聖書をそのまま受け入れず、自分の教理に合うように改ざんした『異端者』であった。

次に、シナイ写本の中に言及されているオリゲネスの『ヘクサプラ』とは何かを見てみましょう。

●オリゲネスの『ヘクサプラ』とは？

オリゲネスが作った旧約聖書「ヘクサプラ」（紀元245年）は、六つの欄がある並列聖書でした。それには、次の内容がすべて取り込まれていました。



オリゲネスの改ざん旧約聖書『ヘクサプラ』

第一欄 ヘブル語旧約聖書

第二欄 ヘブル語旧約聖書のギリシャ語訳

【アキラ訳ギリシャ語旧約聖書】

- アキラ（紀元80年～135年）は、占星術を捨てることを堅く拒んだことと、降霊術を行ったことで、クリスチャンの社会から除名された。
- 彼は、ジュピター（ローマの最高神）のための異教の神殿を建設する指揮を執り、かつて至聖所のあった場所にローマ皇帝の像を据えた。
- 彼は、メシア（キリスト）に関する多くの聖書の箇所を、それらが主なるイエス・キリストに当てはめるのが不可能であるように意図的に訳した。
- 教父イレナエウスはアキラを、「聖書をゆがめる邪悪な者」として激しく攻撃した。
- 彼は、イエスは、マリアと、「パンセラス」という名の金髪のローマ兵（ドイツ生まれ）との間の私生児であるとした。

第三欄

【シマカス訳ギリシャ語旧約聖書】

第四欄

シマカスは二世紀の**異端エビオン派**であり、**イエス・キリストの神性を否定**した。

第五欄 【七十人訳ギリシャ語旧約聖書】
数々の**外典**を含む。

第六欄 【テオドシウス（セオドシオン）訳ギリシャ語旧約聖書】
外典『スザンナの物語』を含む。テオドシウスは**異端グノーシス派**であったが、その後、**ユダヤ教**に転向した。

オリゲネスの**改ざん**旧約聖書『ヘクサプラ』には、【**異端エビオン主義**】・【**異端グノーシス主義**】という要素も含まれていることがわかります。

第三部で、キリスト教異端者が作る**異端聖書**は、『**異端思想を含む改ざん聖書**』となるはずであることを見ました。（→ ）

『**異端聖書**』 = 『**異端思想**』 + 『**改ざん聖書**』

まさに、その通りのことが、**パチカン写本**と**シナイ写本**と同じく、このオリゲネスの『**改ざん聖書**』でも見られます！

以上のことをまとめると、こうなります。

★オリゲネスの『**改ざん聖書**』には、
《**異端者たちの『聖書』**》と《**外典**》が含まれている。



★オリゲネスの『**改ざん聖書**』は、
『**異端の教え**』と『**改ざん聖書本文**』から成る『**異端聖書**』である。

先に紹介したイギリス人の聖書学者アレクサンダー・スーター氏（1873～1949年）は、次のことも指摘しています。

このシナイ写本とバチカン写本は、**コンスタンティヌス**が、カエサリアの監督**エウセビウス**に命じた、あの**50冊の聖書**のうちの二つであったと推測されています。...

Alexander Souter, "[The Text and the Canon of the New Testament](#)" p.21~
(新約聖書の本文と正典 1913年)

これは、次のことを意味します。

● **ローマ皇帝**の指示による**50冊の聖書**

紀元331年、ローマの皇帝**コンスタンティヌス**が**エウセビウス**に指示して**50冊の聖書**を作らせました。次のような記録が残っています。

『**聖書の準備に関する、コンスタンティヌスからエウセビウスへの手紙**』

“...I have thought it expedient to instruct your Prudence to order fifty copies of the sacred Scriptures (**50冊の聖書**) ...

... to be careful to furnish all things necessary for the preparation of such copies (それらの**聖書の準備のために必要などんなものも与える**) ...」

[エウセビウス著『コンスタンティヌス帝の生涯』](#)

ところで、この**50冊の聖書**作成の指示に関してさらに調べる前に、まず、ローマの皇帝**コンスタンティヌス**および**エウセビウス**がどういう人物であったかを見ることにしましょう。彼らは次のような人物でした。

● **コンスタンティヌス帝とは？**

彼は、こういう人物でした。(詳細は→[D-7](#)参照)

コンスタンティヌスは、イエス様が神としての御性質を持っておられることを**全く信じていませんでした**。皇帝であった彼は、自分を「キリスト教徒」であると公言していた時期、ローマの**神秘カルト**の高位の**祭司**でした。

彼が回心したとされていた時の後も、**彼は幾度も殺人を犯しました**。

彼は、**彼の妻と息子をも殺したのです！**

コンスタンティヌスは死んだ時、**太陽崇拝者**たちの高位の**祭司**でしたが、また同時に、この地上の神の教会の「最高権威者」であるとも主張していました！

コンスタンティヌスはコンスタンチノーブル（イスタンブール）を献呈した時、そのセレモニーで**異教の儀式**とクリスチャンの儀式の両方を用いました。

彼が異教の信仰とキリスト教を**混合**しようとしたことは、彼が造った貨幣でもわかります。

彼は貨幣に、**マルス**あるいは**アポロ（ニムロデ）の肖像**とともに、十字架も（特に、クリスチャンと公言する人々を喜ばせるため）**刻印**しました。

さらに彼は、作物の保護と病気のいやしのために、**異教の魔法**も信じ続けました。

- ローマ皇帝**コンスタンティヌス**
(**50冊**の聖書作成の指示者)
- **ローマの神秘カルト**の高位の祭司
- 妻と息子をも**殺害**
- **太陽崇拝者**たちの高位の祭司
- 貨幣に**アポロ（ニムロデ）**像を刻印
- **異教の魔法**を信奉
- 追放された**アリウス**の復帰を許可

★**50冊**の聖書作成を指示した**コンスタンティヌス**は、

自分の妻子をも**殺した**、『**太陽崇拝の祭司・異教の魔法の信奉者**』であった。

● **エウセビウス**とは？

彼は、こういう人物でした。（詳細は→[D-6](#)参照）

初代教会の歴史を記した「偉大な歴史家」とされている**エウセビウス**は、異端の**アリウス派**であり、**アリウスの友人**でもありました。

アリウスは、**イエス**は肉において来られた**神ではない**と信じていました。

すなわち、**イエス**は一人の**被造物にすぎない**と信じていたのです。

アリウスにとって、**イエス**は一人の人間以上の存在ではあっても、決して神ではなかったのです。
エウセビウスは、「**オリゲネスこそ最も偉大な人物**」と考えていました。

オリゲネスの弟子が**パンフィルス**であり、パンフィルスの弟子かつ友人が**エウセビウス**でした。

エウセビウスはパンフィルスと共同で図書館を設立し、**オリゲネスの著作物**をそこに収めました。

■ エウセビウス

- **アリウス派**
- **アリウスの友人**
- **イエスは肉において来られた神ではない**と信じていた
- 「**オリゲネスこそ最も偉大な人物**」と考えた

エウセビウスの**思想・信念**は、こうでした。

【**異端アリウス主義**】

【**イエスは肉において来られた神ではない**】

【**イエスは一人の被造物にすぎない**】

★**エウセビウスは、オリゲネスを崇敬した『アリウス主義の異端者』であった。**

次に、この**50冊の聖書**とバチカン写本・シナイ写本の関係について、さらに見てみましょう。

●50冊の聖書の中のバチカン写本・シナイ写本

■**ジャスパール・J・レイ師**（聖書教師、宣教師）は、『聖書本文の権威者たち』が述べている七つの参照箇所を紹介し、こう述べています。

「聖書本文の権威者たちは、『**シナイ写本とバチカン写本は、紀元331年以降にエウセビウスによりコンスタンティヌスのために作られた50冊のギリシャ語聖書のうちの二つの現存写本**である』と信じています」

1. バーゴン,ミラー共著,"The Traditional Text",p.163
2. "カトリック百科事典 (Catholic Encyclopedia)",Vol.4,p.86
3. Gregory,"The Canon and Text of the New Testament",p.345
4. **アイラ・M・プライス博士** [古代言語・文献学教授] 著
『英語聖書の起源』"Ancestry of the English Bible",p.70
5. A.T.Robertson,"Introduction to the New Testament",p.80



6. Dr.Philip Schaff,"Companion to Greek Testament",p.115
 7. スクリプナー博士,"Introduction to the New Testament",Vol.2,p.270



("God Wrote Only One Bible",p.19, Jasper James Ray)

- T・C・スキート氏（1907年～2003年）は**聖書写本**など古代文献に生涯をささげ、聖書写本に関する数々の本も著しました。彼は1931年から**大英博物館**（シナイ写本等を所蔵）の司書となり、数々の**写本の管理者**でした。**シナイ写本**は、彼が大英博物館に勤務してまもなく、1933年、ソビエト政府から購入されました。スキート氏は、1999年の著書の中で、次の要旨を述べています。

シナイ写本は、ローマ皇帝**コンスタンティヌス**からの指示により完全な形での聖書として作られようとしていたが**完成前**に破棄されたものであり、一方、**バチカン写本**は、実際に**コンスタンティヌス**帝に渡された**あの50冊の聖書**のうちの一つであった。

『シナイ写本とバチカン写本とコンスタンティヌス』

(1999年 T.C.Skeat "The Codex Sinaiticus, The Codex Vaticanus and Constantine",
Journal of Theological Studies 50)

- D・O・フラー博士は次のように述べています。

「**バチカン写本**と**シナイ写本**が**保存**されてきたのは、おそらく、それらが『**ベラム皮紙**』に書かれたからです。

ただし、当時の**それ以外**のほとんどの書物は『**パピルス紙**』に書かれました。

ティッシェンドルフ（シナイ写本の発見者）およびホート（RV本文の作成者）を含めて、多くの学者が、この**バチカン写本**と**シナイ写本**は、**エウセビウス**がコンスタンティヌスの下で、コンスタンチノーブルの諸教会での使用のために用意した、**あの50冊の写本のうちの二つ**であると考えています」

("Which Bible",p.163 , David Otis Fuller)

- フloyd・N・ジョーンズ博士はこう述べています。

「**バチカン写本**と**シナイ写本**...それは、**エウセビウス**が紀元331年以降、**コンスタンティヌス**のために自らが監督して作った、あの最初の**50冊の聖書写本**のうちの**現存する二つ**

の大文字写本です」

"Which Version Is The Bible?", p.106~



「これらの写本は、『立派なベラム皮紙』（上等の皮紙）で、ローマ政府の印も記されていて、コンスタンティンのために用意されました。

この『ベラム』（動物の皮）は、とても上等なものであり、皮紙二枚を作るだけのために一頭のカモシカが使われるほどでした。

このような事業のために十分な資金を持っていたのは王室だけであったはずですが」(D-5)

●三種類の聖書の中の『エウセビウス-オリゲネス版』聖書

■ベンジャミン・G・ウィルキンソン博士は、このローマ皇帝コンスタンティヌスの時代に、三種類の聖書が存在していたことについて述べています。

紀元312年、コンスタンティヌスはローマ帝国の皇帝になりました。

それからしばらくして、彼は自分自身のためにも、また彼の帝国のためにもキリスト教を受容しました。

異教の宗教とキリスト教との融合をもたらそうとしていた彼が見出したのは、優劣を競う三つのタイプの聖書でした。

すなわち、後にTR（テキストゥス・レセプトゥス）となる本文によるコンスタンチノーブルの聖書、パレスチナの『エウセビウス-オリゲネス版』聖書、および、エジプト版聖書でした。

特に、後にTRとなる聖書本文を主張する人々と、『エウセビウス-オリゲネス版』聖書本文を主張する人々との間の争いは熾烈でした。

後にTRとなる聖書本文の擁護者たちは、比較的質素な階級に属し、初代教会にならうことを熱心に求めている人々でした。

ベンジャミン・G・ウィルキンソン博士著『立証された欽定版聖書』第二章

[Our Authorized Bible Vindicated](#)

すなわち、次の三種類の聖書です。

1. 後にTR（テキストゥス・レセプトゥス）となる本文によるコンスタンチノーブルの聖書



2. パレスチナの『エウセビウス-オリゲネス版』聖書

3. エジプト版聖書



三種類のうちの2番目の『エウセビウス-オリゲネス版』聖書について、ウィルキンソン博士はこう述べています。



『エウセビウス-オリゲネス版』聖書本文は、純粋な神のことばと、オリゲネスの思いの中にあつたギリシャ哲学とが混ざつた産物でした。

それは『神のことばをグノーシス主義に適合させたもの』と呼べるかもしれません。

コンスタンティヌス帝はキリスト教を受容したため、彼はそれらの数々の聖書のうちのいずれかの聖書を選択することが必要となりました。

ごく自然に、彼は、『オリゲネスによって書かれ、エウセビウスによって編集されたもの』を好みました。...

コンスタンティヌスが好んだタイプの聖書とは、キリスト教界について彼の帝国主義的な概念の土台を与えてくれるような『読み方』のある聖書でした。

オリゲネスの哲学は、コンスタンティヌスの『宗教と政治』の神政政治に役立てるために、ぴったり適合していました。

エウセビウスは『オリゲネスの大称賛者』であり、彼の哲学を深く学んだ人でした。

彼は、『オリゲネス版の聖書』である『ヘクサプラ』の第五欄を編纂したばかりでした。

コンスタンティヌスはこれを選び、50冊の聖書を用意するよう要請しました。

ベンジャミン・G・ウィルキンソン博士 同書

さらに、フロイド・N・ジョーンズ博士はこう述べています。

■ 「問題は、エウセビウスがコンスタンティヌスのためにその50冊の聖書を用意する際、ガイドとして何を用いたかです。

エウセビウスは、「オリゲネスこそ最も偉大な人物」と考えていました。

彼はオリゲネスの書状を800通収集し、オリゲネスの『ヘクサプラ』を用いたと述べています。

《F.N.ジョーンズ博士》



こうして、エウセビウスは旧約聖書のためにオリゲネスの『ヘクサプラ』の第五欄(*)を選択したのです。(※ アイラ・M・プライス博士 [古代言語・文献学教授] 著『英語聖書の起源』)



そして彼は**外典**を付け加え、さらに、**オリゲネス編集**の新約聖書を使って完成させました。...

シナイ写本も**バチカン写本**も、それらの**ルーツ**は**オリゲネス**にあります」

(フロイド・N・ジョーンズ博士)

● まとめると...

以上のことをまとめると、こうなります。

★**バチカン写本**と**シナイ写本**は、ローマ皇帝**コンスタンティヌス**が**エウセビウス**に用意させた、**50冊の聖書**のうち**の二つ**である。

★**エウセビウス**は、**オリゲネス**の『**改ざん聖書**』から**50冊の聖書**を作った。

■ **オリゲネス**の『**改ざん聖書**』



■ **エウセビウス**の『**50冊の聖書**』
(**バチカン写本**・**シナイ写本**を含む)



すでに見た通り、「シナイ写本は、**オリゲネス**の『**聖書**』に由来」していました。（→『**シナイ写本**に書き込まれている『**オリゲネス**』』の項を参照）

こうして、シナイ写本についてだけでなく、**バチカン写本**についても、次の結論が導き出されます。

★**バチカン写本**と**シナイ写本**は、**オリゲネス**の『**改ざん聖書**』から作られた。

さて、現代版聖書は**ネストレ-アーラント**版/**UBS**版**聖書本文**を通じて**聖書本文RV**に由来しており、さらにそれは『**バチカン写本・シナイ写本**』に由来しています。

したがって、上記の結論と合わせると、次の結論が導かれます。

★**現代版聖書のルーツ**は、**オリゲネス**の『**改ざん聖書**』である。

次の第五部では、これまでにわかったことがらを整理し、まとめてみることにしましょう。

《 現代版聖書のルーツ 5 》

[PDFファイル](#)

■ 第五部 『現代版聖書』とは？（まとめ）

第四部では、現代版聖書のルーツが**オリゲネス**の『**改ざん聖書**』であることを見ました。

この第五部では、これまでにわかったことがらを整理し、まとめることにしましょう。

● 引き継がれている 《**思想・信念**》 ・ 累積されている 《**改ざん・編集**》

まず、**オリゲネス**の『**改ざん聖書**』から『現代版聖書』に至るまでの**4段階**を概観してみましょう。

重要な事実は、《**思想・信念**》が**引き継がれて**おり、《**改ざん・編集**》が**累積されて**いることです！

四つの段階を順に見てみましょう。

【1】『**オリゲネスの改ざん聖書**』には、改ざん者**オリゲネス**の《**思想・信念**》が染み込んでいます。

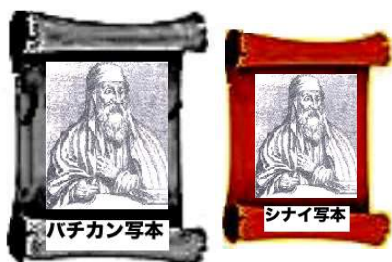
■ **オリゲネスの《思想・信念》**



■ **オリゲネスによる《改ざん》**

- 【ギリシャ哲学】・【新プラトン主義】
- 【異端エビオン主義】・【異端グノーシス主義】
- 【万人が救われることになる】
- 【イエスは一人の被造物にすぎない】
- 【人は罪のない者となるために煉獄に行かねばならない】
- 【前世からの生まれ変わりを信じる】
- 【バプテスマを受けない幼児は地獄に行く】
- 【聖書は文字通りに解釈するものではない】
- 【アダムの存在も人間の墮落も信じない】
- 【創世記一章～三章は歴史的記述ではない】

【2】それから作られた『**バチカン写本・シナイ写本**』には、**オリゲネス**の《**思想・信念**》が引き継がれているだけでなく、さらに、編集者である**エウセビウス**の《**思想・信念**》も染み込んでいます。



■ **エウセビウスによる《編集》**

■ **エウセビウスの《思想・信念》**

- 【異端アリウス主義】
- 【イエスは肉において来られた神ではない】
- 【イエスは一人の被造物にすぎない】

【3】それから作られた『**RV**』には、**オリゲネス**の《**思想・信念**》も**エウセビウス**の《**思想・信念**》も引き継がれているだけでなく、さらに、編集者である**RV編集者たち**の《**思想・信念**》も染み込んでいます。

■ **RV編集者たちの《思想・信念》**

- 【悪霊との交信】・【ユニテリアン主義】
- 【イエス・キリストの神性を否定】



■RV編集者たちによる《編集》

【聖書の靈感を否定】

【イエス・キリストのあがないを否定】

【三位一体を否定】

【進化論を支持】

【4】それから作られた『現代版聖書』（ネストレ-アーラント版/UBS版全聖書）には、オリゲネスの《思想・信念》もエウセビウスの《思想・信念》もRV編集者たちの《思想・信念》も引き継がれているだけでなく、さらに、編集者である現代版聖書の編集者たちの《思想・信念》も染み込んでいます！



■現代版聖書の編集者たちによる《編集》

■現代版聖書の編集者たちの《思想・信念》

【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】

【外典は靈感されている】

【聖書の逐語靈感を否定】

【聖書の正典性を疑う】

【聖書の無謬の靈感を否定】

【聖書を神のことばと信じない】

【聖書の摂理的保持の教えを否定】

【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】

こうして、次のハンバーガーの図が出来上がります。

【1】オリゲネスの『改ざん聖書』

=

聖書改ざん者オリゲネスの《思想・信念》

【食材】

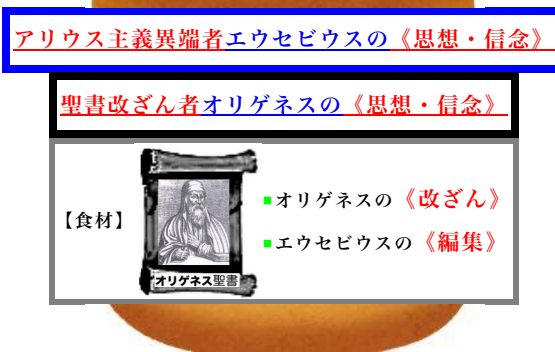
■オリゲネスの《改ざん》



【2】 エウゼビウスの『50冊の聖書』（バチカン写本・シナイ写本を含む）



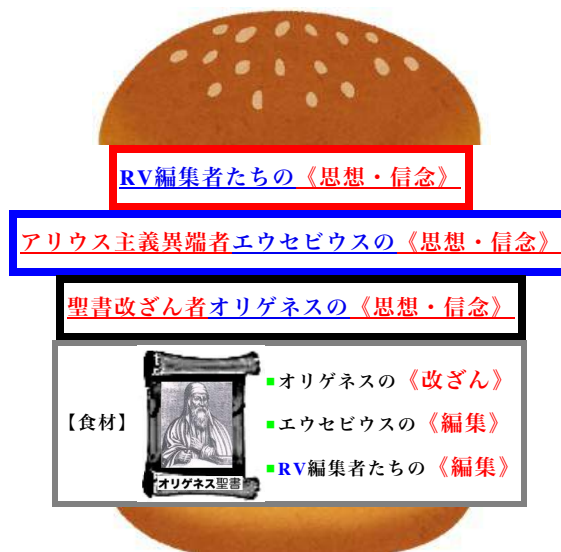
=



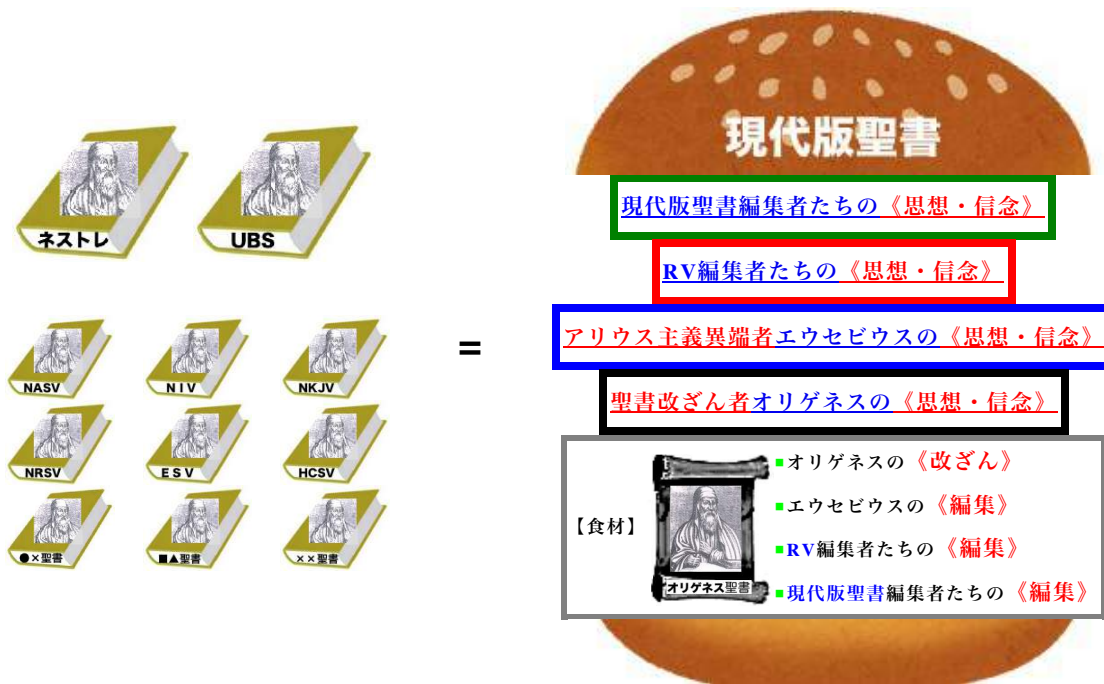
【3】 聖書本文RV



=



【4】現代版聖書（ネストレ-アーラント版/UBS版全聖書）



したがって、現代版聖書を『読む』とは、このハンバーガーを食べることを意味します。

● 現代版聖書に染み込んでいる《思想・信念》と《改ざん》

★現代版聖書には、上記の数々の《思想・信念》が染み込んでいます。

F・N・ジョーンズ博士は、以下の事例を紹介しています。（→E-6《ネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文の検証》）

- [マタイ19・17](#) オリゲネスの信念（至高善）への改ざん事例
- [マルコ1・2、3](#) オリゲネスのグノーシス的信念への改ざん事例
- [ルカ2・14](#) オリゲネスの信念（ギリシャ哲学）への改ざん事例
- [ヨハネ1・18](#) アリウス派の異端の教えへの改ざん事例

《F.N.ジョーンズ博士》



★現代版聖書には、数々の《改ざん・編集》による食い違い・矛盾等も染み込んでいます。

W・N・ピッカリング博士は、削除により食い違いが生じている事例、自己矛盾している事例、改ざんにより明白な矛盾を生み出している事例、意味をなさない事例などを紹介しています。

- [科学的にあり得ない本文事例](#)...ルカ23・45

- [キリストを「偽り者」としている本文事例](#)...ヨハネ7・8
- [明らかな偽りが述べられている本文事例](#)...第一コリント5・1

★現代版聖書の中に、これらオリゲネスの**哲学**や**異端思想**、**削除**、**食い違い**、**矛盾**、**改ざん**等が見られるのは、それらの元となっているバチカン写本・シナイ写本にこれらのものが含まれているからです。

これらの写本を検証した人々が出した結論は、「福音書だけでも、バチカン写本には合計**7578語**の**改ざん**がなされており、シナイ写本では**改ざん**の合計が、**9000**近くにもなる」というものでした。(D-11参照)

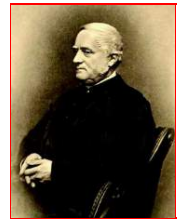
《ジョン・W・バーゴン》



★検証したジョン・W・バーゴン師は、この2写本は「**偽造された読み方**、**古代のトンでもない間違い**、および、**真理を意図的にゆがめたもの**などが**大量にある倉庫**」であると宣言しました。

★同じく検証したF.H.A.スクリブナー博士は、シナイ写本は「**改ざんだらけ**」であると述べました。

《スクリブナー博士》



★フロイド・N・ジョーンズ博士は、ネストレのギリシャ語本文を、ギリシャ語の聖書本文**TR**と比べると、**新約聖書に36191箇所**もの**相違**があると述べています。

《総まとめ》

現代版聖書について、まとめてみましょう。

【1】 そのルーツは、オリゲネスの『**改ざん聖書**』でした。

★オリゲネスは、ギリシャ哲学の影響を受け、**聖書**をそのまま受け入れず、**自分の教理**に合うように**改ざん**した『**異端者**』であった。

オリゲネスは、「**イエス様の言われたことを正す**ことさえしました」(→D-4『[オリゲネスの信念](#)』参照)

つまり、彼は、「イエス様の言われることよりも**自分の主張のほうが正しい**」としたのです。

彼の**主**は、イエス様ではなく、**自分自身**でした。

彼にとっては、『**イエス様は自分よりも下**』だったのです！



彼が作った聖書には、【**異端エビオン主義**】・【**異端グノーシス主義**】という要素も含まれており、こういうものでした。

★オリゲネスの『**改ざん聖書**』には、

《**異端者たちの『聖書』**》と《**外典**》が含まれている。

★オリゲネスの『**改ざん聖書**』は、

『**異端の教え**』と『**改ざん聖書本文**』から成る『**異端聖書**』である。



【2】次に、そのオリゲネスの『**異端聖書**』を利用したのが、オリゲネスを崇敬していた**エウセビウス**でした。

★**エウセビウス**は、オリゲネスを**崇敬した**、『**アリウス主義の異端者**』であった。

オリゲネスの『**異端聖書**』から作られた**バチカン写本**・**シナイ写本**も、こういうものでした。

★**バチカン写本**・**シナイ写本**も、

『**異端の教え**』と『**改ざん聖書本文**』から成る『**異端聖書**』である。



【3】次に、この『**異端聖書**』である**バチカン写本**・**シナイ写本**を利用したのが、**RV**の**編集者**たちでした。

彼らは、【**イエス・キリストの神性を否定**】し、【**聖書の靈感を否定**】し、【**TRを敵対視**】し、【**イエス・キリストのあがないを否定**】し、【**三位一体を否定**】し、【**進化論を支持**】する、【**悪霊との交信者**】や【**ユニテリアン主義**】の人々でした。

彼らの作った**RV**は、こういうものでした。

★**バチカン写本**・**シナイ写本**の『**改ざん聖書本文**』から作られた**RV**も、

同じく『**改ざん聖書本文**』である。



【4】最後に、その『改ざん聖書本文』であるRVを利用したのが、現代版聖書の編集者たちでした。

彼らは、【聖書の逐語・無謬の靈感を否定し、神のことばと信じない】、【カトリック的統合に向けてエキュメニカル運動を推進】する人々であり、【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】、【外典は靈感されている】と考え、【聖書の逐語靈感を否定】し、【聖書の正典性を疑い】、【聖書の摂理的保持の教えを否定】し、【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】する人々でした。

彼らによってネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文が編集され、それが各国語に翻訳されて現代版聖書が作られています。

こうして、次の結論に導かれました。

★現代版聖書のルーツはオリゲネスの『改ざん聖書』である。



【4】現代版聖書（ネストレ-アーラント版/UBS版全聖書）



=



すなわち、現代版聖書とは、『オリゲネスの改ざん聖書』を中核（【食材】）とし、上記の数々の異端者たちおよび編集者たちによる《改ざん・編集》の結果も、彼らの四重の《思想・信念》も添加物として大量に含んでいる

文書なのです。

現代版聖書=オリゲネスの『改ざん聖書』+《改ざん・編集》+《思想・信念》（異端者たちおよび編集者たちによる）

したがって、現代版聖書を『読む』とは、これら**全部を自分の内に取り込む**ことを意味します！

《終わりに》

★真の『神の民』であるなら、神のことばを**一点一画**まで重要視するはずです。

「まことにあなたがたに言いますが...律法から文字の**一点あるいは一画も**...過ぎ去ることは決してないからです」

(マタイ5・18)

★イエス様は弟子たちに、『**パン種に注意し、気を付けていなさい**』と言われました。

「イエス様は彼らに言われた。

『パリサイ人たちとサドカイ人たちの**パン種に注意し、気を付けていなさい**』

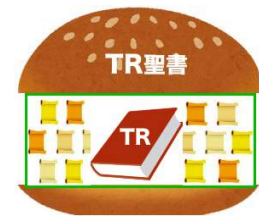
...それから彼らは、...パリサイ人たちとサドカイ人たちの**教えに気を付けているように**と言われたことを悟った」

(マタイ16・6、12)

★神はご自分の聖徒たちに、**真の『神のことば』**、**本当の『みことば』**を用意してくださいました。

それにより、霊的に『**成長する**』ためです。

「生まれたばかりの赤ちゃんのように、みことばに合った、
ごまかしのない乳を慕い求めなさい。
それによって成長するためです」 (第一ペテロ 2・2)



★真の『神の民』は、神のことばの『一点あるいは一画』をも大切にすべきです。

「私と私の家族はヤーウェに仕えます」(ヨシュア記24・15)と告白し、「私(神)のことばに恐れおののく者」(イザヤ66・2)は、『みことばに合った、ごまかしのない乳』を慕い求めようではないでしょうか。

[聖書の歴史 目次](#) [E-1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#)

[聖書の歴史 概観表](#)

[聖書の歴史 目次](#)

[聖書のホームページ](#)

[TR 新約聖書](#)

[《UBS版聖書本文とは?》](#)

[《ネストレ-ア-ラント版聖書本文とは?》](#)

[《聖書協会UBSとは?》](#)

[《ネストレ版/UBS版聖書に関わった人々》](#)

[《オリゲネスとは?》](#)

[《エウセビウスとは?》](#)

[『現代版聖書のルーツ』](#) (小冊子)

[『聖書の歴史』](#) (書籍)

[《キリスト教界でほとんど知られていない事実》](#)

[聖書本文の比較と検証](#)

[二つの聖書本文の流れ\(PDF\)](#)

[現代版聖書のルーツ E8～E12\(PDF\)](#)

[聖書の歴史E2～](#)

[E5\(PDF\)](#)

選択がゴリにジャンプ!

[利用規約](#) Copyright C. エターナル・ライフ・ミニストリーズ